とこなめ
1971

愛知県常滑市

市　章

（昭和30年６月制定）

常滑市の「常」の字を、杉本健吉氏が図案化したもので、市民の団結と市勢の発展を表わしている。

表　紙

古常滑長頸壺（平安末期）
平安時代のやきもののなかで最も美しいものの一つに数えられている。

目　次

発刊にあたって…… 1
沿　　革…… 3
位　　置…… 4
人　　口…… 5
行　　政…… 6
市　議　会…… 7
行政組織図…… 8
市議会の構成…… 9
財　　政……10
競艇事業……11
市民病院事業……12
陶芸研究所事業……13
水道事業……15
産　　業……16
商　　業……20
農　　業……22
水　産　業……24
土木建築……26
教育文化……30
社会福祉……36
保健衛生……38
交通安全……40
消　　防……41
治　　安……42
交　　通……43
通　　信……44
市民生活……45
観　　光……46
官公庁・市内案内図……50
常滑音頭・常滑小唄……52

発刊にあたって　　常滑市長　久　田　慶　三

新しい地方自治の息吹きともいうべき町村合併促進法の趣旨により隣接５カ町村が合併して常滑市が誕生してから17年を迎えました。

財政再建、伊勢湾台風などかずかずの試練に遭遇しながらもみなさま方のあたたかいお力添えによって新興都市としての形態を整えつつ、順調な発展を遂げてまいりましたことはまことに喜びに堪えないところであり、関係各位のご指導とご協力に対しまして改めて深甚なる謝意を申し述べるものであります。

市制施行以来の念願でありました市庁舎の竣工を中心に陶磁器会館、市民体育会館、養護老人ホーム、図書館と諸施設の充実も相次ぎ、能率とサービスの向上をめざしてまいりましたことは、躍進する常滑市の象徴とも申すべくこの上ないよろこびでございます。

近年のめまぐるしい社会、経済の変革は、地方行政の分野においても幾多の課題を与えておりますが、市民の快適かつ安全な生産と生活の保障を目標に、一層の創意と勇断をもって努力したいと念願しているものであります。

本誌により常滑市を正しくご理解いただき、さらに今後の進展にお心をお寄せいただければ幸甚に存じます。

躍進する常滑

市制施行後は、新市として都市的形態を整えるため社会基盤整備のための行政需要がいちじるしく増大し、加えて財政自主再建の適用、伊勢湾台風をはじめ相つぐ大災害など悪条件が重なり、行政的にも財政的にもきびしい受難の時期がつづいた。

しかし間もなく競艇事業が好転し、また、災害の復旧事業もきわめて順調に進捗したので、その後は学校、保育園、公民活動施設、道路橋梁、環境衛生、産業の近代化など生産と生活環境の整備に飛躍を遂げることができた。

ことに、市民体育会館、市庁舎、図書館、陶磁器会館と近代的各センターの完成が相次ぎ、大曽大公園建設も全容を表わし、さらに駅前広場整備、綜合基盤整備の２大事業をはじめ、地域の開発、住民福祉の安定と向上のためのいくつかのプロジェクトが具体化されている。

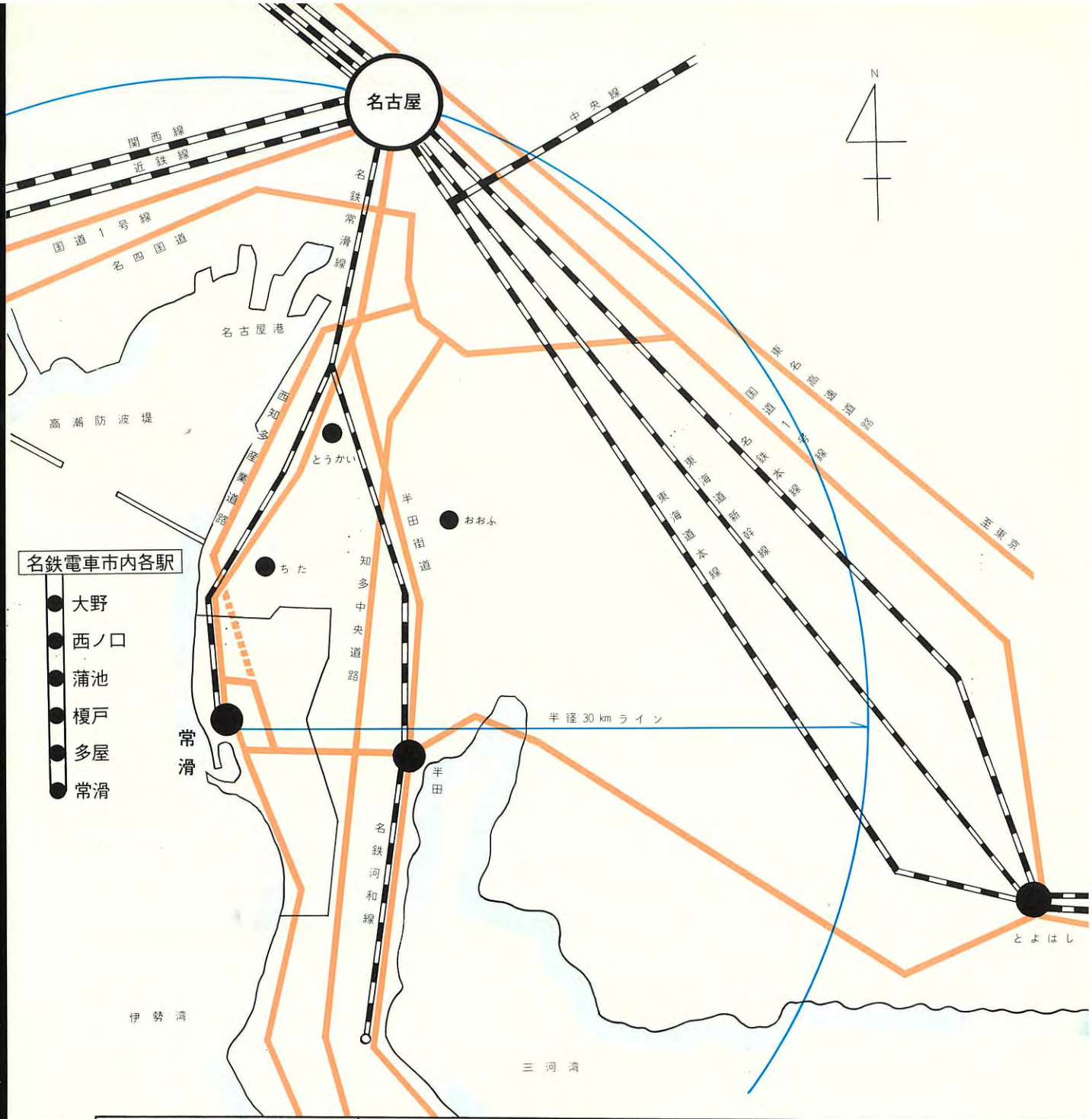
中部圏の要である中京広域圏の一核として、また、豊かな開発可能性を有する伊勢湾に臨む新興都市として、常滑市の担う役割りはまことに大きくその前途は洋々たるものがある。

沿　革

本市は昭和29年４月１日、常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町および三和村の４町１村が合併して誕生した。
その後、南部に隣接した小鈴谷町のうち、大谷、小鈴谷広目および坂井の４地区が昭和32年３月31日に市域に加わり、現在の常滑市となった。
以前の歴史をさぐると、往古、漁労の民が海岸沿いにあるいは海を渡って当地に住みついたと想像される。
和名抄には知多郡贄代郷の地と記されており、永正４年(1507年)の宗長宇津山記には「伊勢の国多気より大湊に出で、尾張の国知多郡常滑という津に渡る」とある。
戦国時代を経て江戸時代には尾張藩の治下にあり、維新後は名古屋県、額田県そして愛知県に属した。
本市の地名「常滑」については、万葉集にも用例があり学説では「常」は床の義にとり、「滑」は滑(なめらか)の義にとるのが妥当であるとされている。古来当地は岩土盤の露出が多く、その性質はなめらかになっており、この岩土盤全体をも「とこなめ」と呼ぶ習俗を生んだものとされている。

位置

本市は愛知県の知多半島、西海岸中央部にあって、東経136度50分北緯34度54分に位置し、東西6.1km、南北15km、面積49.46㎢、西は伊勢湾に面して平たん地が続き第4期沖積層であり、東は半島の背骨ともみえる第3期層の丘陵地帯で半田市、武豊町との境をなしている。海岸沿いに市街地を形成し、伊勢湾は漁業に、平たん地は商工業に、そして丘陵部は農畜産にとめぐまれた地理的条件にある。中部圏の核心名古屋中心部へは電車で45分の距離にある。



土地

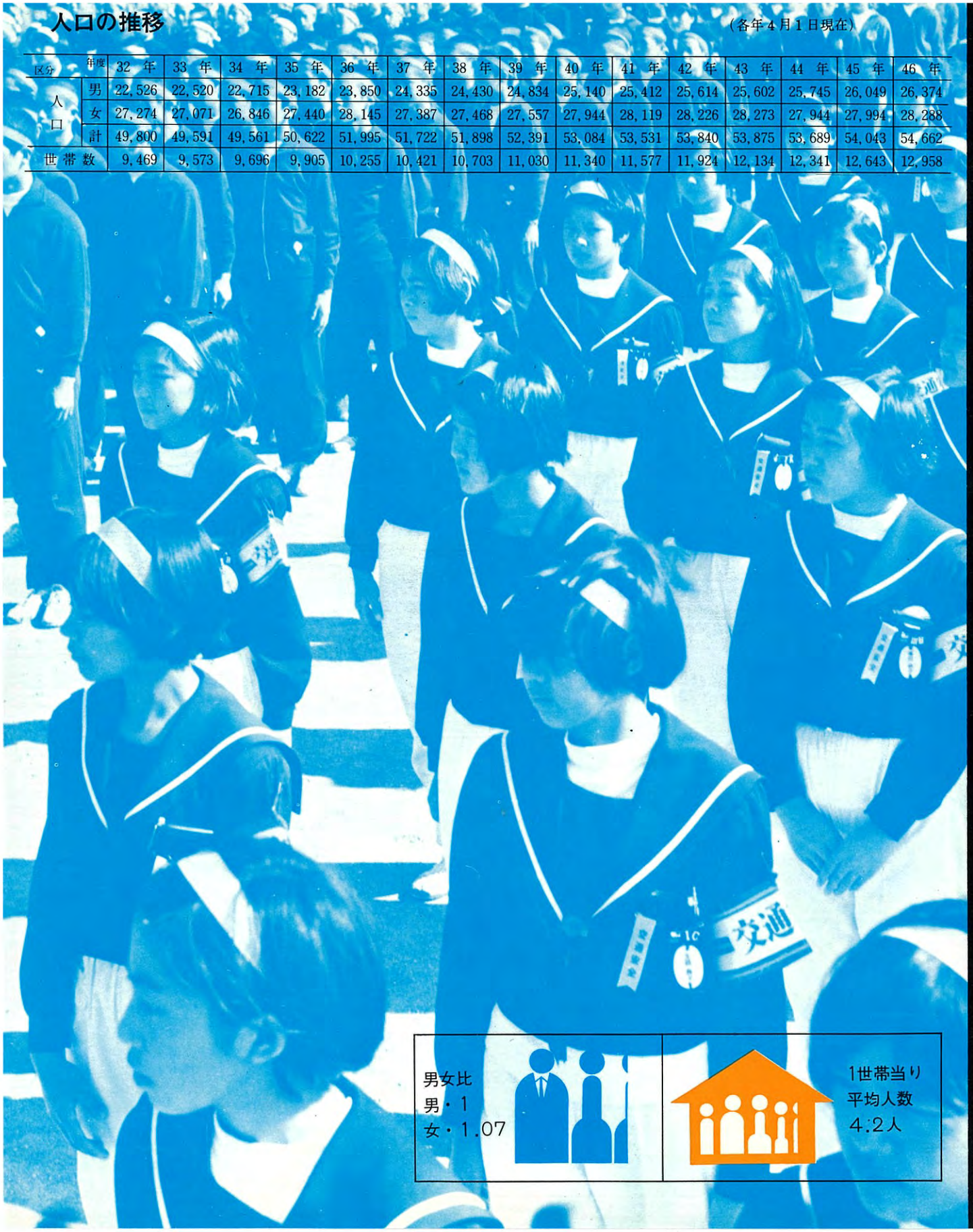
総面積 49.46㎢

田	畑	宅地	山林	原野	池沼	その他
1,283Ha	747Ha	528Ha	836Ha	106Ha	118Ha	1,328Ha

人口の推移

（各年４月１日現在）

区分 ＼ 年度		32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年	46年
人口	男	22,526	22,520	22,715	23,182	23,850	24,335	24,430	24,834	25,140	25,412	25,614	25,602	25,745	26,049	26,374
	女	27,274	27,071	26,846	27,440	28,145	27,387	27,468	27,557	27,944	28,119	28,226	28,273	27,944	27,994	28,288
	計	49,800	49,591	49,561	50,622	51,995	51,722	51,898	52,391	53,084	53,531	53,840	53,875	53,689	54,043	54,662
世帯数		9,469	9,573	9,696	9,905	10,255	10,421	10,703	11,030	11,340	11,577	11,924	12,134	12,341	12,643	12,958



男女比
男・1
女・1.07

1世帯当り
平均人数
4.2人

人口

昭和29年４町１村による市制施行時の人口は42,979人、その後32年に小鈴谷町を合併49,800人となった。過去５か年の増加率を見ると自然増が１％、社会増が0.5％減となっており、緩慢な増加を示している。

●行政

市制施行17年を迎えた本市は、知多西地方第一の都市としてこの地方における行政、経済、学術および文化の中心をなしている。
明るい市民サービスと言行一致の市政をモットーに、教育文化の振興、道路・港湾の整備拡充あるいは民生の安定また交通安全対策の推進等、住民の福祉向上のため充実した行政がなされている。

久田慶三

服部正次

平野昭三

歴代市長	
氏名	就任期間
伊奈長三郎	29. 4. 25～30. 3. 5
滝田次郎	30. 3. 27～34. 3. 26
久田慶三	34. 3. 27～在任

歴代助役	
氏名	就任期間
伊奈四郎	29. 5. 7～32. [illegible]
久田慶三	30. 9. [illegible]～34. [illegible]
山田滝一	34. 6. [illegible]
服部正次	38. 10. [illegible]在任

歴代収入役	
氏名	就任期間
[illegible]	29. 5. 7～34. 6. 28
平野昭三	34. 6. 29～在任

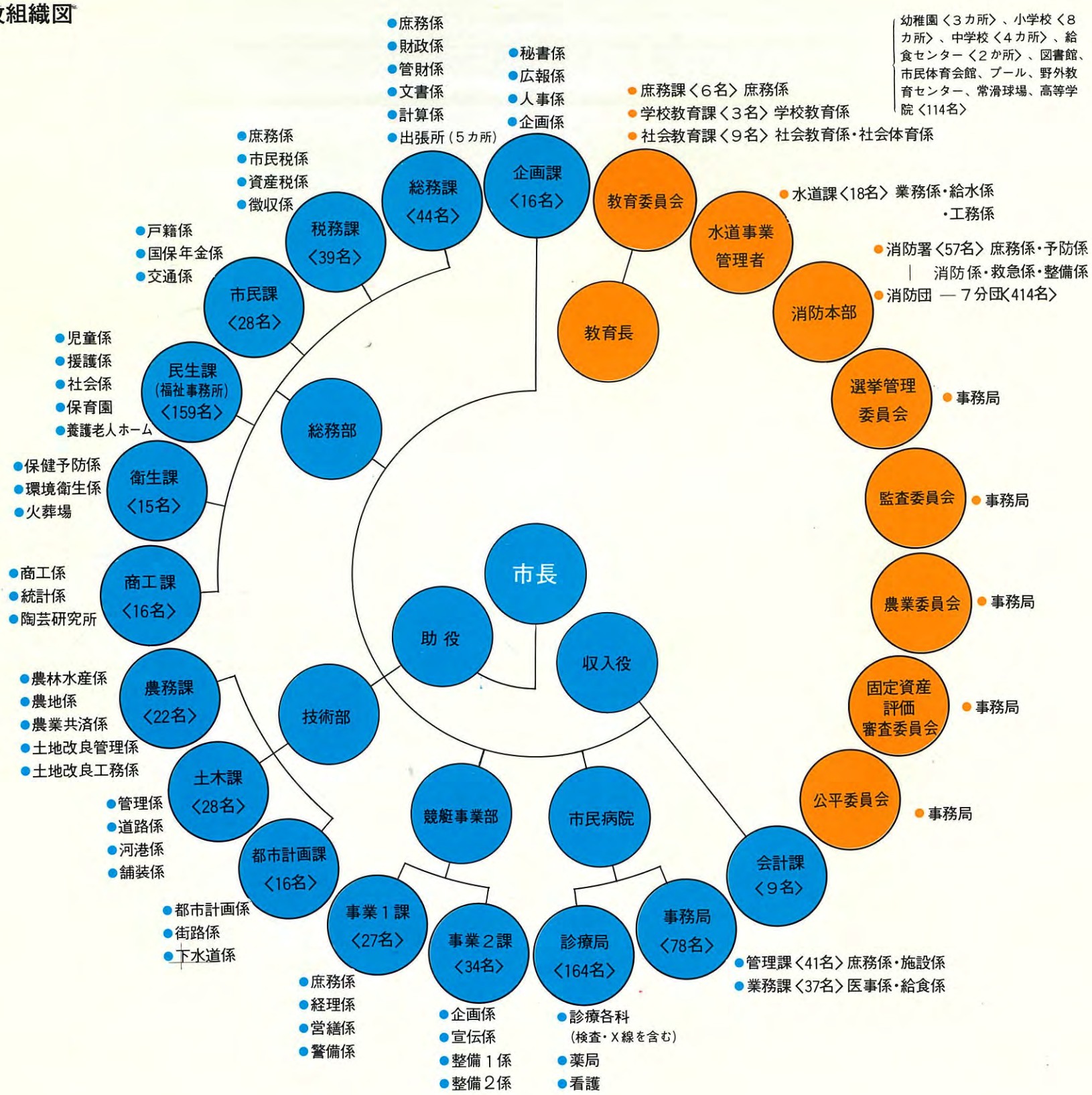
議決機関

市の議決機関である市議会は、昭和37年12月定数減少条例を制定して議員定数30名と定め、少数精鋭をもって活発な審議を行なっている。定例会は年４回、常任委員会は総務、建設、経済保健および文教民生の４委員会である。

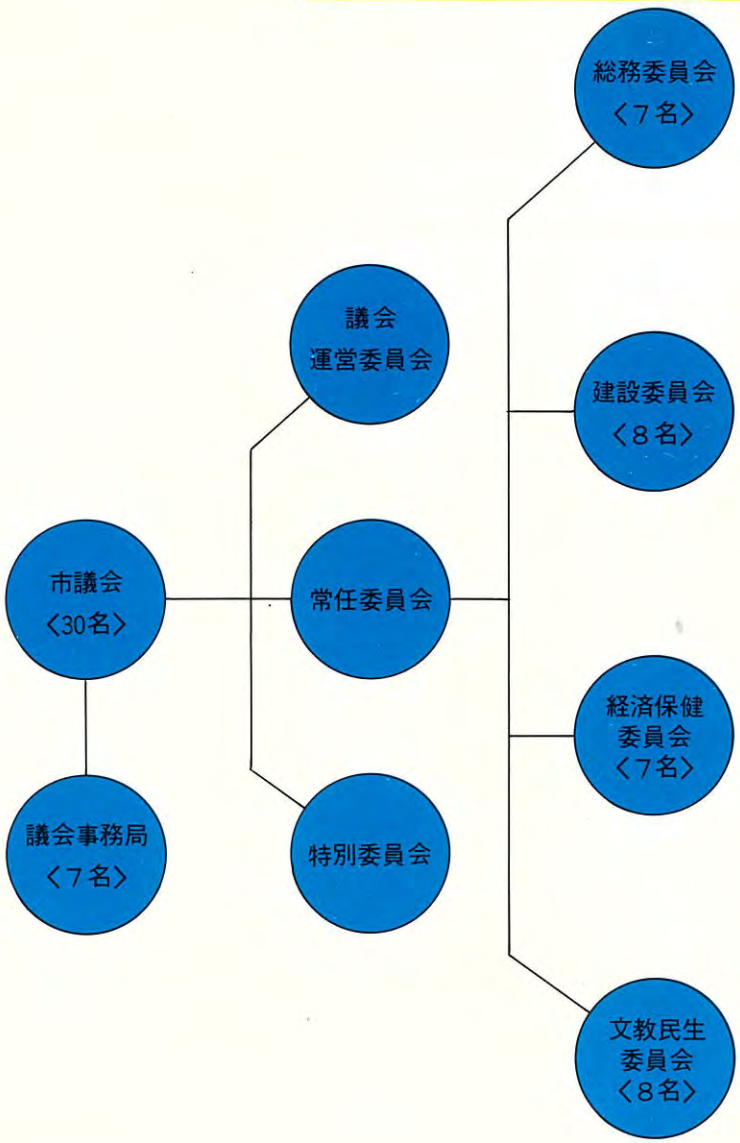
歴代議長	
八木虎雄	29. 4. 10～32. 4. 7
杉江達太郎	32. 4. 8～33. 4. 3
井上健一	33. 4. 4～34. 3. 31
稲葉民治	34. 4. 2～36. 3. 31
久田金蔵	36. 4. 1～38. 3. 31
沢田良蔵	38. 5. 7～42. 4. 29
山下治二	42 5. 8～43. 5. 8
村上一良	43. 5. 8～44. 5. 9
沢田良蔵	44. 5. 9～46. 1. 22
村上一良	46. 1. 22～46. 4. 29
山下治二	46. 5. 7～在任中

歴代副議長	
水上義介	29. 4. 10～30. 3. 31
杉江達太郎	30. 4. 5～32. 4. 7
井上健一	32. 4. 8～33. 4. 3
山本広志	33. 4. 4～34. 3. 31
久田金蔵	34. 4. 2～36. 3. 31
村上一良	36. 4. 1～38. 3. 31
都築治郎兵衛	38. 5. 7～40. 4. 30
伊奈嘉蔵	40. 5. 1～41. 10. 31
山下治二	41. 11. 1～42. 4. 29
沢田民四郎	42. 5. 8～43. 5. 8
相羽友弥	43. 5. 8～44. 5. 9
伊藤九朗	44. 5. 9～45. 5. 8
村上一良	45. 5. 8～46. 1. 22
相羽友弥	46. 1. 22～46. 4. 29
夏目善男	46. 5. 7～在任中

行政組織図


市長
助役
収入役
総務部
企画課〈16名〉
●秘書係
●広報係
●人事係
●企画係
総務課〈44名〉
●庶務係
●財政係
●管財係
●文書係
●計算係
●出張所（5カ所）
税務課〈39名〉
●庶務係
●市民税係
●資産税係
●徴収係
市民課〈28名〉
●戸籍係
●国保年金係
●交通係
民生課（福祉事務所）〈159名〉
●児童係
●援護係
●社会係
●保育園
●養護老人ホーム
衛生課〈15名〉
●保健予防係
●環境衛生係
●火葬場
商工課〈16名〉
●商工係
●統計係
●陶芸研究所
教育委員会
●庶務課〈6名〉庶務係
●学校教育課〈3名〉学校教育係
●社会教育課〈9名〉社会教育係・社会体育係
幼稚園〈3カ所〉、小学校〈8カ所〉、中学校〈4カ所〉、給食センター〈2か所〉、図書館、市民体育会館、プール、野外教育センター、常滑球場、高等学院〈114名〉
教育長
水道事業管理者
●水道課〈18名〉業務係・給水係・工務係
消防本部
●消防署〈57名〉庶務係・予防係
消防係・救急係・整備係
●消防団 — 7分団〈414名〉
選挙管理委員会
●事務局
監査委員会
●事務局
農業委員会
●事務局
固定資産評価審査委員会
●事務局
公平委員会
●事務局
技術部
農務課〈22名〉
●農林水産係
●農地係
●農業共済係
●土地改良管理係
●土地改良工務係
土木課〈28名〉
●管理係
●道路係
●河港係
●舗装係
都市計画課〈16名〉
●都市計画係
●街路係
●下水道係
競艇事業部
事業1課〈27名〉
●庶務係
●経理係
●営繕係
●警備係
事業2課〈34名〉
●企画係
●宣伝係
●整備1係
●整備2係
市民病院
診療局〈164名〉
●診療各科（検査・X線を含む）
●薬局
●看護
事務局〈78名〉
●管理課〈41名〉庶務係・施設係
●業務課〈37名〉医事係・給食係
会計課〈9名〉

市議会の構成



市議会議員名簿

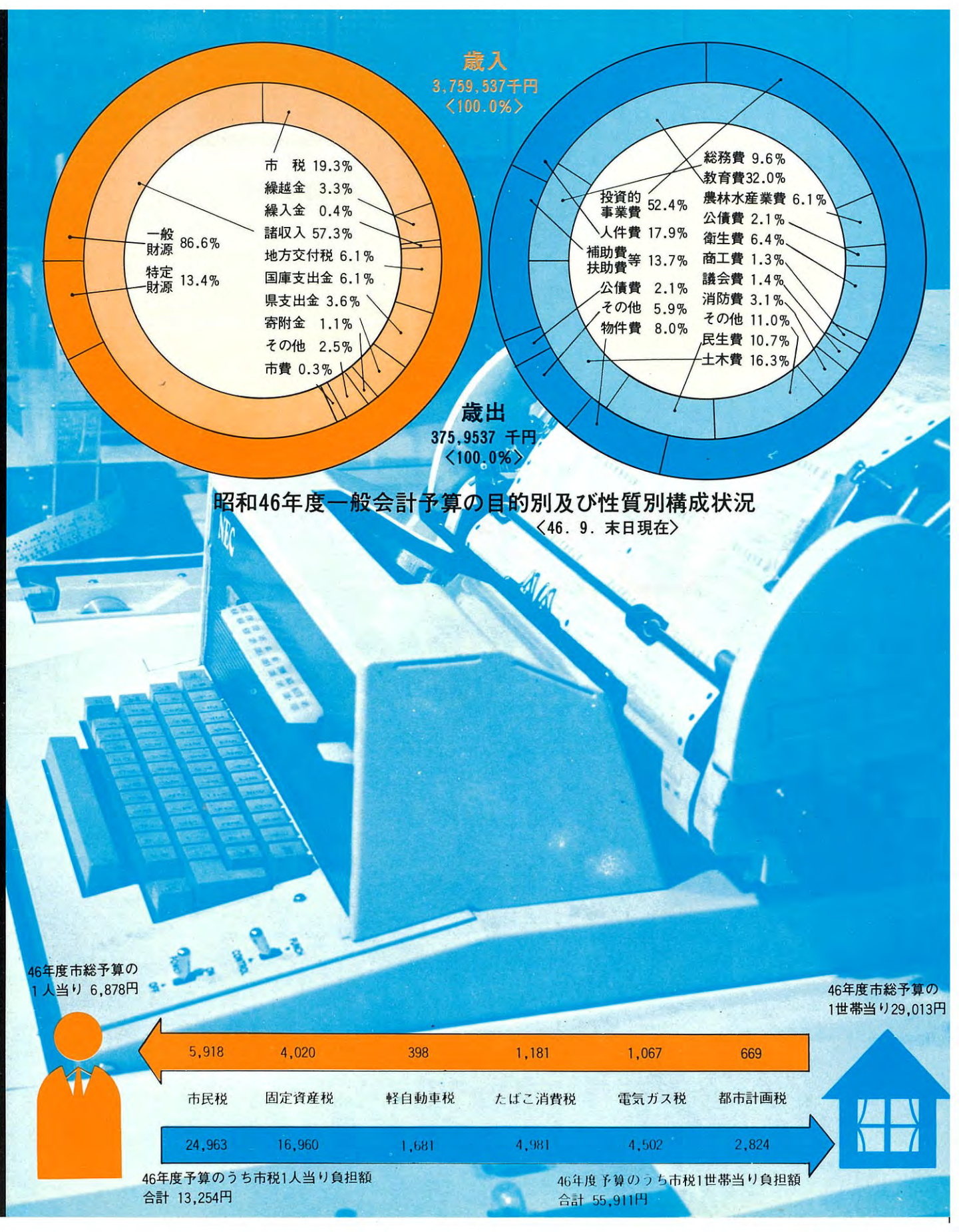
議席	氏名	所属委員会	党派別	職業	年令	住所
1	大河内正治	建設	無所属	会社員	38	常滑市字梶間口14
2	吉田惣造	総務	〃	会社員	47	〃 榎戸字新町南123
3	稲葉務	総務	〃	代表社員	44	〃 古場字栗下前27の5
4	相羽友弥	建設	〃	代表社員	48	〃 字北屋敷127
5	古川三十郎	◎経済保健	〃	無職	63	〃 字平井口51の33
6	水野喜一	経済保健	〃	農業	46	〃 蒲池字蒲池郷中63
7	盛田亮一	○文教民生	〃	無職	67	〃 大谷字浜条125
8	伊藤渉	建設	〃	農業	48	〃 榎戸字金荒子227
9	久野義雄	総務	〃	呉服販売	64	〃 金山字北郷11
10	角野和昭	文教民生	公明党	左官業	42	〃 字土取畑21
11	夏目善男	文教民生	無所属	農業	54	〃 古場字坪根17の1
12	稲葉民治郎	建設	〃	農業	40	〃 多屋字地先2
13	杉江武寿	文教民生	〃	製陶業	59	〃 字山方100
14	水口重次郎	総務	〃	理容業	67	〃 字宮下3
15	山田竹士	○総務	〃	会社社長	48	〃 字口田42
16	関一雄	○建設	〃	味噌醤油製造業	35	〃 字北郷128
17	山下治二	経済保健	〃	農業	57	〃 西ノ口字郷中109
18	土井太郎	○経済保健	〃	無職	60	〃 西阿野字忠田43の3
19	沢田民四郎	建設	〃	会社社長	60	〃 樽水字新居95の2
20	今村尚	経済保健	〃	農漁業	51	〃 坂井字蛭沼41
21	竹内利幸	◎建設	〃	農業	51	〃 金山字平井106
22	山本国夫	文教民生	〃	会社社長	50	〃 字前田東割47
23	伊藤好一	◎総務	〃	出版印刷業	61	〃 大野町字新町北53
24	都築行雄	文教民生	〃	農業	49	〃 久米字東郷3
25	相武喜久四郎	◎文教民生	〃	農業	62	〃 多屋字森西105の1
26	大岩喜代一	建設	〃	農業	63	〃 大谷字道向6
27	村上一良	経済保健	〃	農業	54	〃 矢田字東根組13
28	間瀬明治	文教民生	〃	新聞販売業	48	〃 大野町字十王58
29	沢田信也	総務	日本共産党	政党役員	36	〃 大谷字奥条37の2
30	庭瀬健太郎	経済保健	〃	政党役員	39	〃 字野間口33

財政

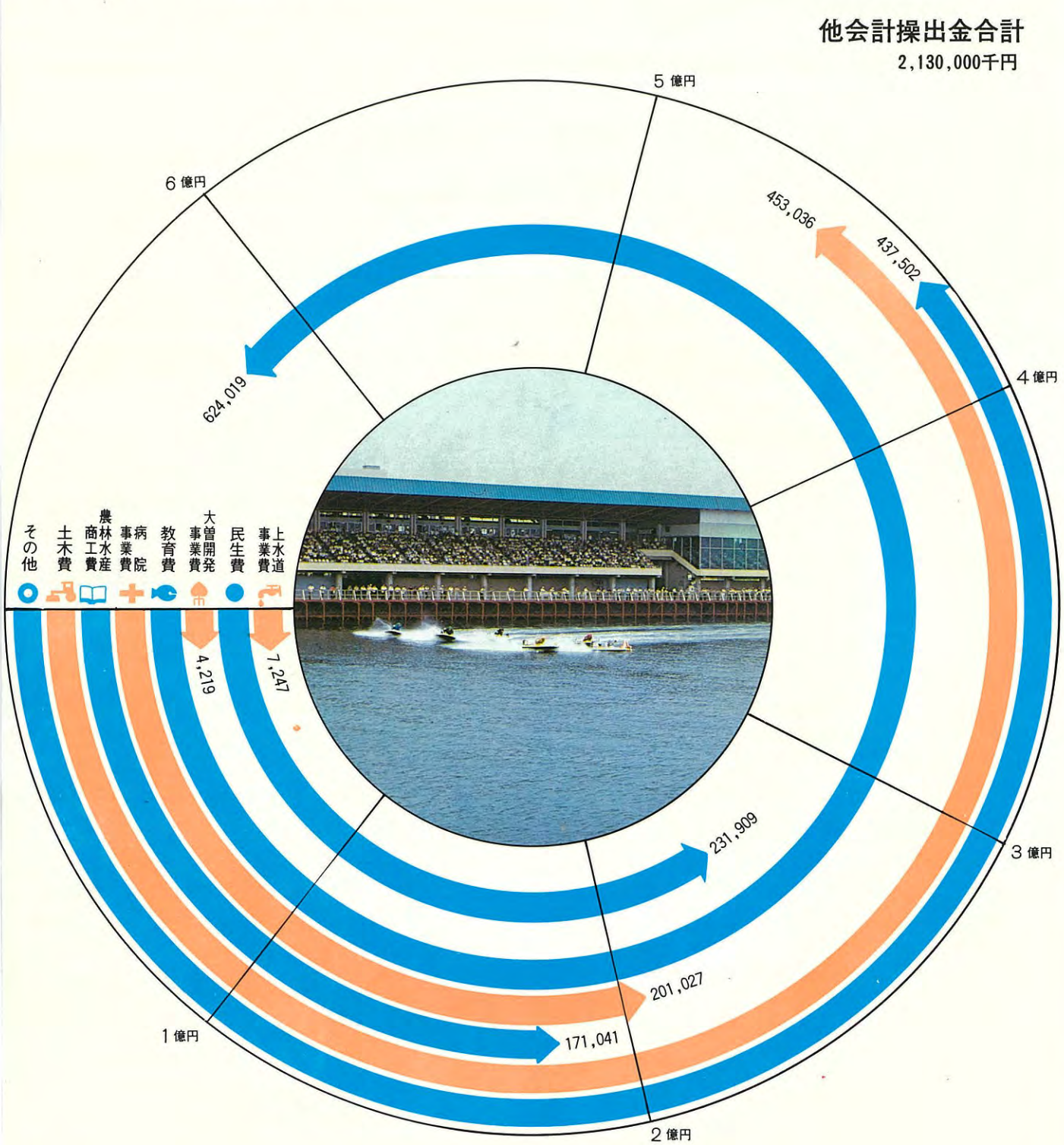
最近における経済社会の急速な進展とともに、行政需要も高度多様化し、ますます増大し、交通安全公害対策等新しい需要を生じつつあり、行政の合理効率化を余儀なくされ、その計画的整備を図ることが強く要請されている現状にかんがみ、国の財政計画をもとに積極的に行政施設水準の向上を図り「地域づくり」「街づくり」の事業を計画的に実施することによって、将来における長期的な見通しのもとに活発なる公共投資を中心に行政の近代化を図らなければならない。

この様な状況下において、堅実な財政運営を基幹として市民福祉の向上を主標に、交通安全対策の推進、産業基盤の整備、教育の振興と施設備の充実等の推進を最重点施策として積極的に行政施設水準の向上に努めている。

昭和46年度予算規模は一般会計37億5953万円、特別会計157億9553万円、企業会計11億8416万円、合わせて207億3923万円となり、本予算を通じて市勢の進展と市民福祉の増進に資するものである。



昭和45年度収益金使途状況



●競艇事業

近年、国民のレジャーへの欲求度が強まっている背景の中に、競艇事業の売上げは大きく伸びているが、45年度は1日平約売上8,695万円となり、前年度に比し40.1%の増を示した。

この伸び率は、42年度について同業界中の第1位であったが、1日の平均入場者数でも、45年度は前年度に比し22.7%増の6913名を数えるに至っている。

当事業存立の根拠となっているモーターボート競走法が制定されてから46年はちょうど20周年目に当る年である。

日本に競艇という言葉が未だ通用しない創設当時の文字通りの苦労はさることながら、当事業の収益金が、本市財政にたいし大きく貢献している今日的な意義は余りにも大きく、一時期を画するこの年にあたり、競走法における所期の目的達成の再認識と、将来に向って益々健全なリクレーションの場として、あまねくファンの要求に応えていくことが固く約束されている。

●市民病院事業

市民の医療機関として昭和34年５月開設された市民病院は当市を中心とした地域住民の健康を守る医療サービスを行うセンターであり、市内福祉施設の中で最も重要な役割を果しており、なお、一層市民の要望に応え得るため、病棟を始め診療、管理部門の増築と各種医療機器設備の整備事業もなり、この新装と医療施設の充実した病院で市民の皆様が安心して快適な診療が受けられ健康で明るい日常生活を営まれるよう、一層の努力を致しております。

●陶芸研究所事業

小高い常石の丘の上、近代的なこの研究所の中で、日本６古窯の一つ「古常滑」の伝統を受け継ぐ陶芸家たちが日夜研究に製作に孜々として励んでいる。内外の見学者は年々増加している。

常滑市陶磁器会館

昭和45年10月、市業界のセンターとして設置された常滑市陶磁器会館は、鉄筋コンクリート３階建、1237㎡におよび３階に会議室、２階に業界各関係組合、１階では常滑焼の展示紹介、ならびに即売が行なわれ、関係者の取引のあっせんの場として関係者はもとより外来者にも広く利便がはかられている。

愛知県常滑窯業技術センター

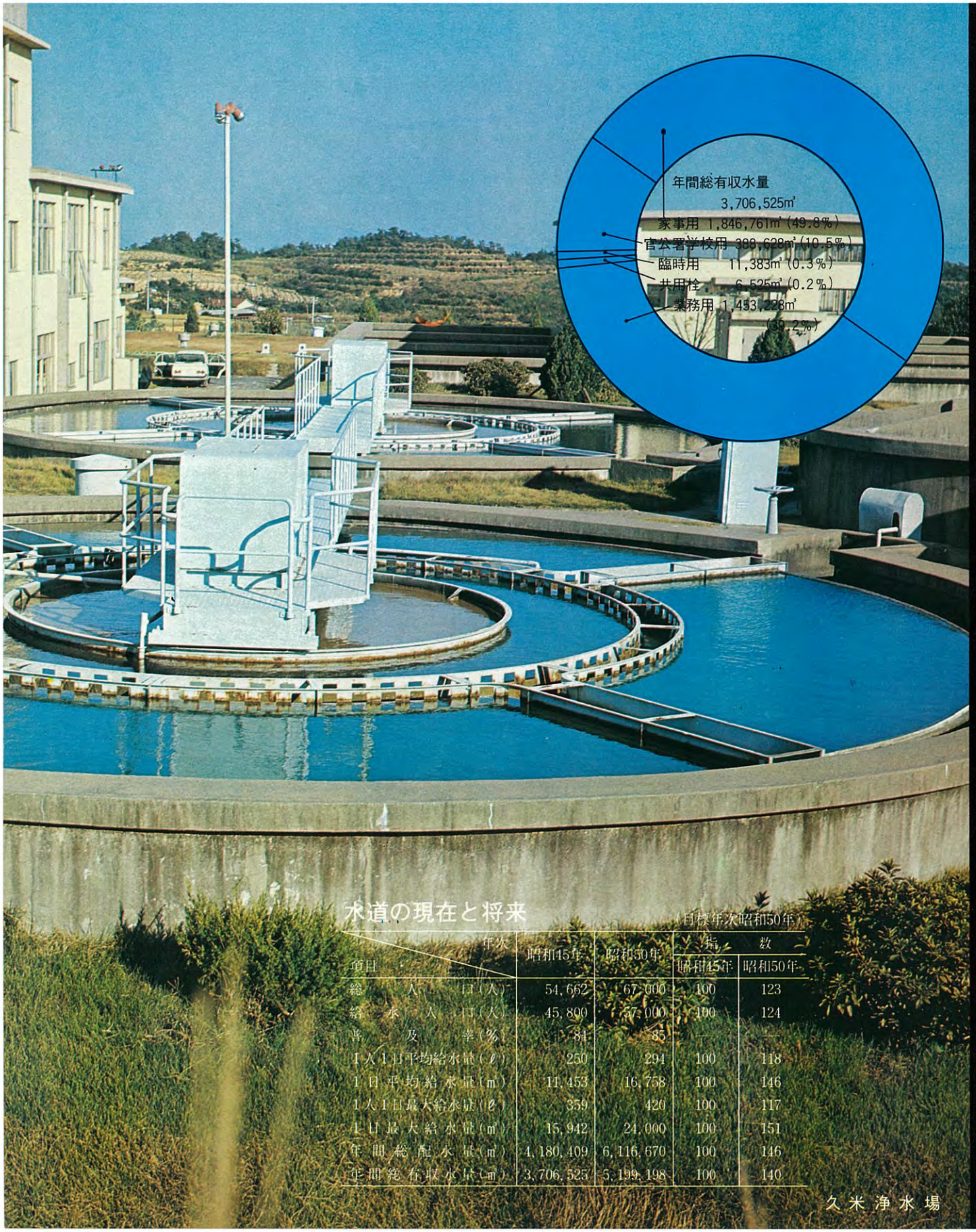
愛知県常滑窯業技術センターは県内窯業の試験研究と技術指導のセンターで、昭和43年10月2,995.9㎡におよぶ新施設を建設発足し、県下の窯業界特に中小企業に密接な問題や共通的な課題からいくつかの今日の問題、明日の研究課目を選定し専門分野において試験研究を進め県下中小企業の技術研究部門の共同施設的役割を果している。

また当センターはだれでも気軽に各種の施設を利用することができ、研究、試験、分析、鑑定、加工などの依頼に応じるとともに意匠図案および試作等をもなされている。

●水道事業

近代都市の必須条件であり、文化生活のバロメーターともいわれる上水道は、愛知用水上水道計画により、昭和32年12月厚生省の認可を受け配水管布設工事に着工し昭和37年２月工事完成、愛知県営久米浄水場から供給され、全市域に給水している。この完成により、従来の市営ならびに組合営の簡易水道はすべて整備統合され運営の一元化が実現した。

さらに第１期拡張事業は昭和40年１月に完成給水人口4,500人増を確保、第２期拡張事業は昭和50年を目標に給水人口19,500人増を見込み１人１日平均294ℓ、１日最大給水量24,000㎥の事業で昭和41年に着手され同47年度に完成予定であるが、年々増大する水需要に対処するため第３期拡張計画もあり、上水道の確保は充分に行なわれている。



水道の現在と将来

（目標年次昭和50年）

項目＼年次	昭和45年	昭和50年	指数 昭和45年	指数 昭和50年
総人口(人)	54,662	67,000	100	123
給水人口(人)	45,890	57,000	100	124
普及率(%)	84	85	—	—
1人1日平均給水量(ℓ)	250	294	100	118
1日平均給水量(㎥)	11,453	16,758	100	146
1人1日最大給水量(ℓ)	359	420	100	117
1日最大給水量(㎥)	15,942	24,000	100	151
年間総配水量(㎥)	4,180,409	6,116,670	100	146
年間総有収水量(㎥)	3,706,525	5,199,198	100	140

久米浄水場

●産業

工業

市の中心部には大小の製陶工場がひしめいており、全国的に陶器の町として知られている。この常滑焼は遠く平安時代から良質の陶器の産地として伝統を誇り安政年間にはじまった朱泥（しゅでい）はそのさびた色のはだ合いと穏和な光が広く海外にまでもてはやされる当市独特の産物である。

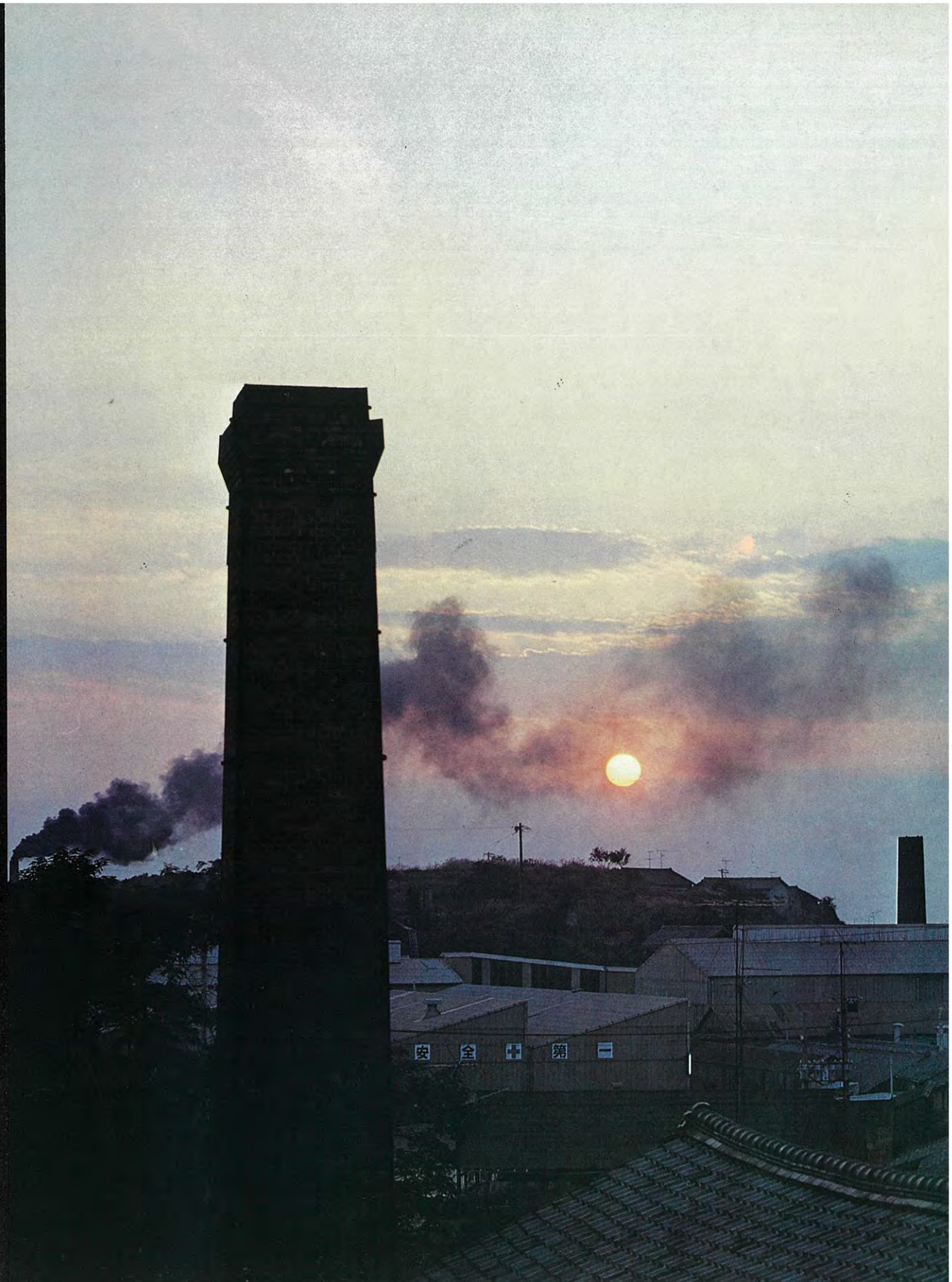
明治以後、この朱泥に土管などの建築陶器が加わり、現在は衛生陶器・タイル・建築ブロック等をはじめとして装飾および芸術品あるいは玩具、日用生活品など、はば広く生産されている。とくに陶管はわが国最大の生産を誇っている。

平安鎌倉の穴窯時代に制作されたダイナミックな古常滑は、今また優れた陶芸作家の輩出によりわが国陶芸界で高く評価されている。

昭和36年設立開館された市立陶芸研究所は、伝統陶芸の保持、陶芸作家の育成等陶芸振興に大きく貢献し、また、常滑市陶磁器会館は窯業のＰＲ、陶磁器製品の展示即売を行ない陶磁器関係各協同組合と合わせて窯業界のセンターとしての機能を果している。

また創設以来、窯業技術の指導研究機関として親しまれてきた愛知県陶磁器試験場は、その名も愛知県常滑窯業技術センターとして市内三ツ池地内に約２億円を投じて近代的な施設が建設され、一層の期待が持たれる。

このほか市の南、北部は知多木綿の産地として多くの織布工場があり、また知多の酒で知られる醸造業も活発である。



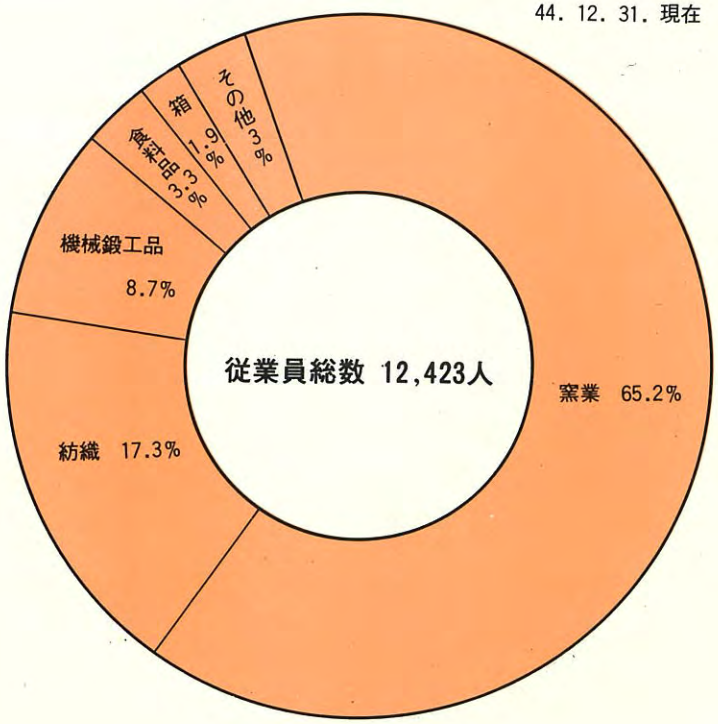
業種別生産状況

44. 12. 31. 現在

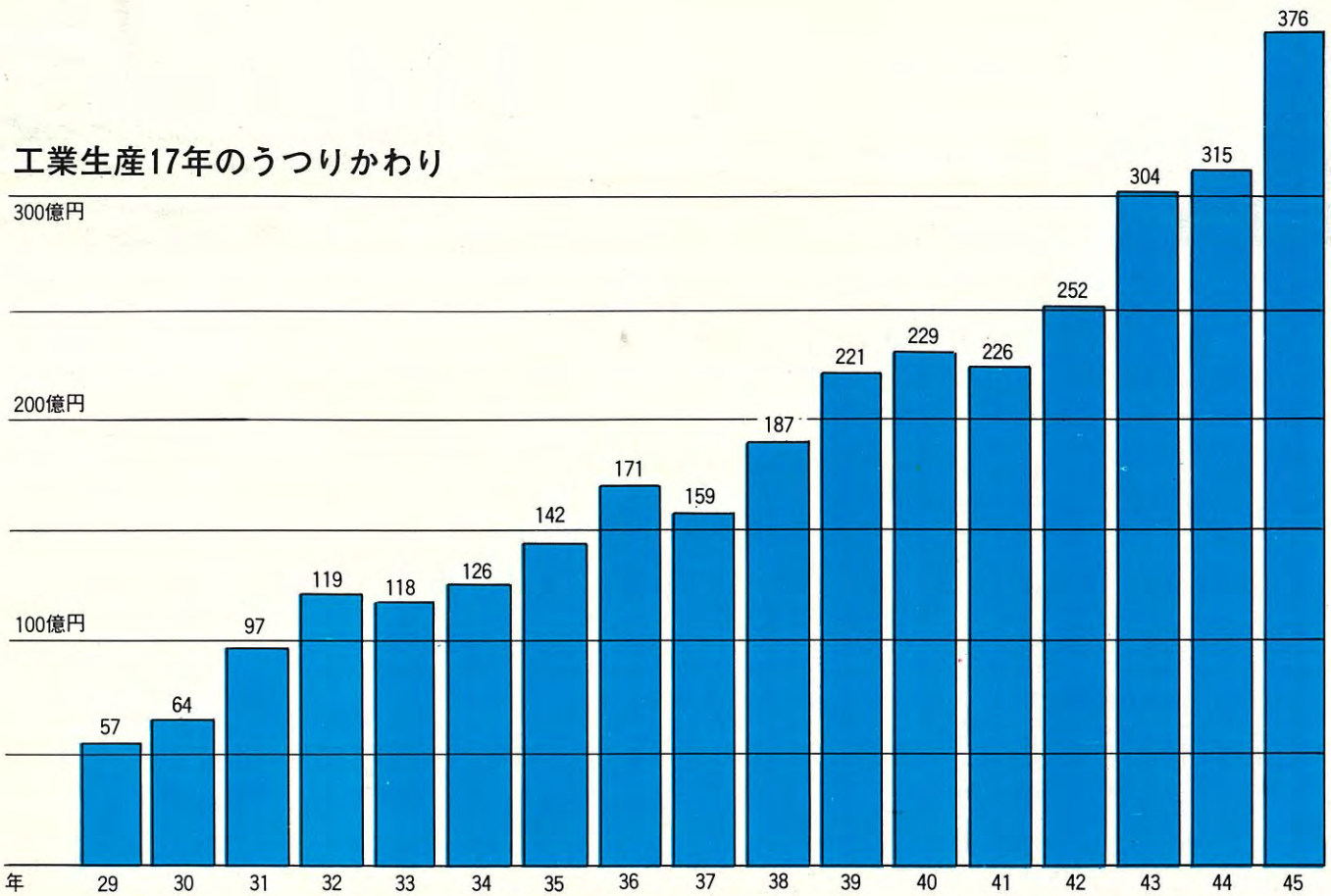
種別	事業所数	従業員数	生産額	出荷率
		人	万円	%
陶磁器	452	8,100	1,679,880	55.2
紡織	103	2,146	627,908	18.4
食料品	41	410	213,067	6.9
機械・鍛工品	50	1,083	422,719	13.0
箱	12	236	92,834	3.0
製材	19	105	20,199	0.6
建具	12	46	9,167	0.3
印刷	4	72	16,021	0.5
その他	19	225	64,507	2.1
合計	**712**	**12,423**	**3,146,302**	**100.0**

業種別従業員割合

44. 12. 31. 現在



工業生産17年のうつりかわり



陶磁器の業種別生産状況

昭和45. 12. 31現在

種別	事業所数	従業員数	生産額	出荷率
		人	万円	%
陶管	80	645	172,149	8.1
タイル	28	3,300	947,451	44.7
衛生陶器	18	938	263,974	12.6
食卓用厨房用陶磁器	54	270	45,789	2.2
置物玩具	64	878	215,936	10.6
陶磁器絵付	33	122	(加工賃)8,020	——
植木鉢	97	803	183,692	8.8
石こう製品	21	121	17,629	0.9
素地製品	90	306	4,809	0.2
その他の窯業	37	634	240,753	11.9
合計	**522**	**8,017**	**2,092,182**	**100.0**

織物５年間の生産状況

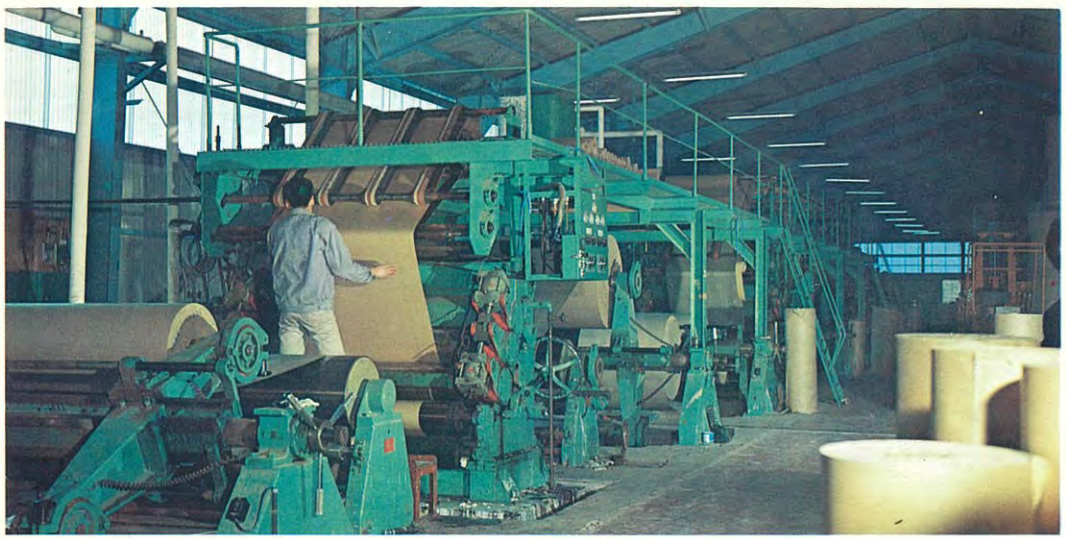
単位万円

種別＼年次	41	42	43	44	45
紡績	227,949	332,819	376,810	305,785	251,532
綿・スフ・ガーゼ	202,906	200,318	176,728	163,013	243,404
綿・麻ロープ	3,434	2,814	3,237	2,909	3,357
シャツ・靴下・その他	81,862	81,261	197,900	101,281	123,254
合計	**516,151**	**617,212**	**754,675**	**572,988**	**621,547**

食料品５年間の生産状況

単位万円

種別＼年次	41	42	43	44	45
酒・調味料	133,280	148,696	161,750	173,488	194,149
パン・菓子	13,785	13,945	16,341	18,768	20,471
その他	18,432	18,471	19,232	19,680	29,704
合計	**165,497**	**181,112**	**197,323**	**211,936**	**244,324**



その他の生産状況

単位万円

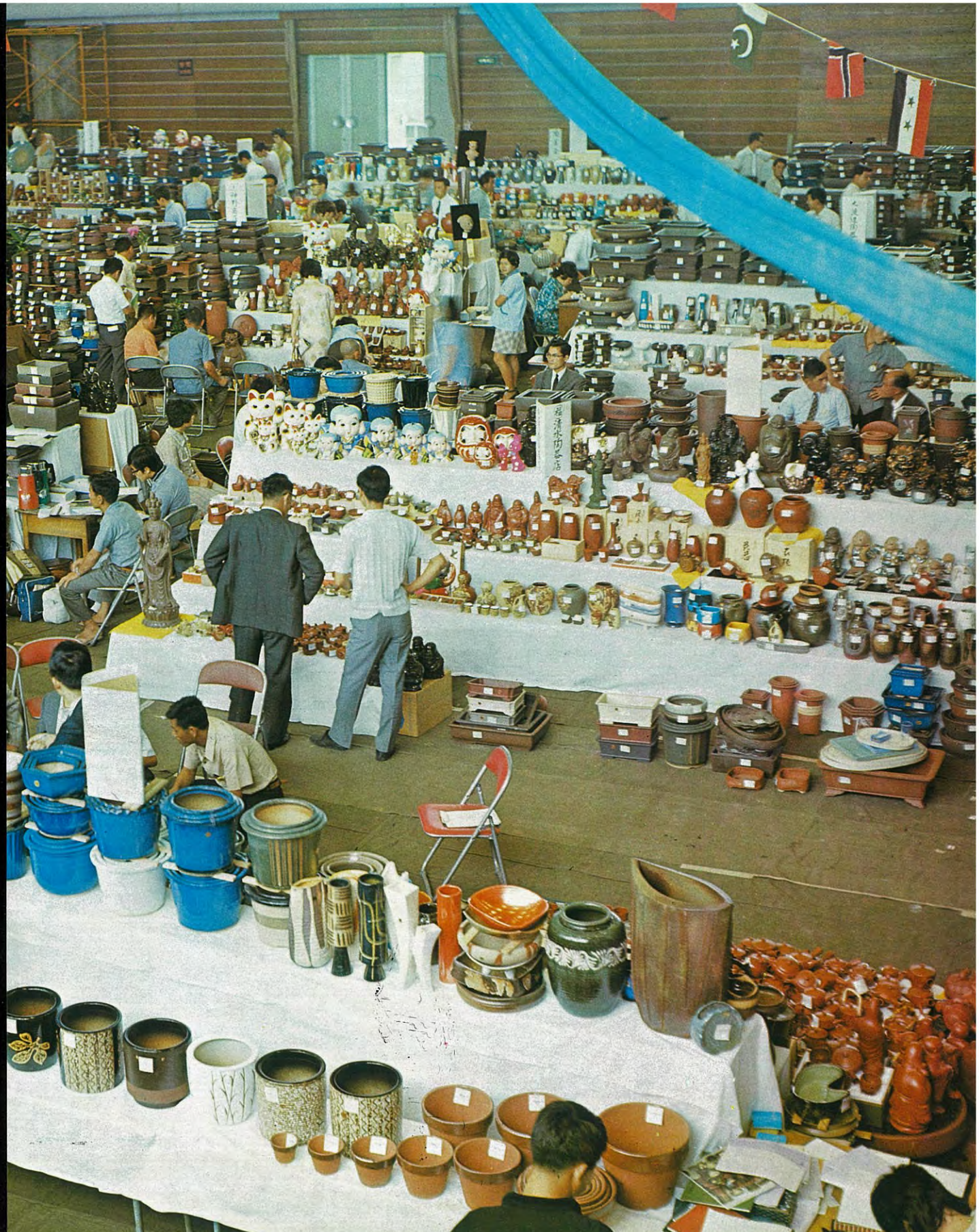
種別＼年次	41	42	43	44	45
機械	212,592	236,089	326,584	385,127	637,899
箱	49,008	57,921	66,435	83,682	115,916
製材	11,399	10,983	14,963	13,201	24,065
建具	3,141	4,956	9,448	9,167	12,736
その他	33,616	26,704	36,734	22,084	63,785
合計	**309,756**	**336,653**	**454,164**	**513,261**	**854,401**

商業

近年商店街単位で組織的な経営へと活動を始めている一部商店街では、名実ともに近代的な商店街づくりにとすでに資金の積立をはじめるなど、近代経営に組みかえるべく合理的な商店経営の研究指導がなされている。

このほか関係業者の協同化も進んでおり、これ等をあわせ目下構想が練られている常滑駅前広場整備が実施されれば近代的商店街が実現するものと期待されている。

陶磁器販売業者が協力開催する常滑焼見本市は全国の業者が集まりにぎわいを見せる。



銀座通り商店街

大野商店街

主な業種別販売移推

業種＼年	39	41	43	45
	万円			
陶磁器	258,036	297,333	393,113	277,077
酒・調味料	66,033	90,561	100,051	66,687
呉服	72,121	89,456	101,934	143,645
石油・石炭	133,013	89,582	119,273	166,147
菓子・パン	36,229	44,460	52,914	31,193
野菜	40,796	35,896	66,768	97,783

産業種類別調

昭和45年

産業分類＼区分	商店数	従業員数	商品販売額
		人	万円
卸売業	112	644	698,579
小売業	964	2,575	844,014
各種商品	1	x	x
織物・衣服・身廻品	140	367	109,379
飲食料品	353	800	235,471
自動車・自動車等	38	100	27,599
家具・建具・什器等	121	323	128,310
その他	195	640	302,146
医薬品・化粧品	42	85	25,963
農耕用品	12	44	48,626
燃料	31	151	123,334
書籍・文房具	26	179	28,844
中古品	4	6	211
その他	80	175	75,168
飲食店	116	345	41,109
合計	**1,076**	**3,219**	**1,542,593**

●農業

市内東部の丘陵地は農地として利用されている。昭和36年通水した愛知用水は、これまで溜池、小河川にたよった当地の農業を一変させた。台風など災害時をずらし、雨期を待たず作付けできるなどから矢田、前山地区の農業構造改善事業に見られるように機械化等農業経営近代化施設を導入して省力栽培が行なわれている。しかしながら耕地面積は通水により造成されたが一方、工場、住宅への農地転用により耕地面積は増加していない現状である。全国的な傾向といえる農業従事者の減少は、本市においても同様であるが、農家数は現状を継持、兼業農家は依然兼業が行なわれ、自立農家は米作を主体に、家畜、養鶏、園芸のうち一つを加えて経営規模を拡大し、施設の近代化と農業労働力の合理化を進めると共にこれら農産物、とくに生鮮食料の販売流通機構の整備統合に努めて農業所得の向上を計っている。農業生産額は、畜産が第１位、米産が第２位、次に野菜、果物の順となっている。これらのうち果物は〝みかん〟であり、花卉は名古屋市場に向けられている。市合併発足に伴い推進されていた農業協同組合の合併は６組合となったが、農家へのサービスと営農の向上を期して合併推進協議会が組織されている。

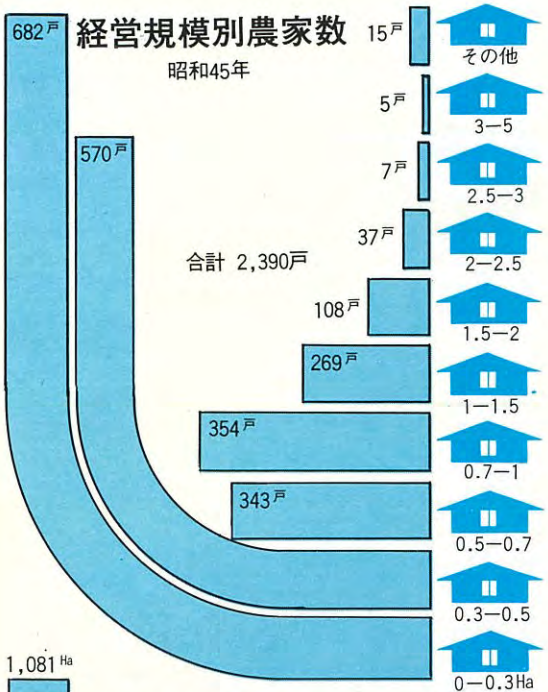
愛知用水

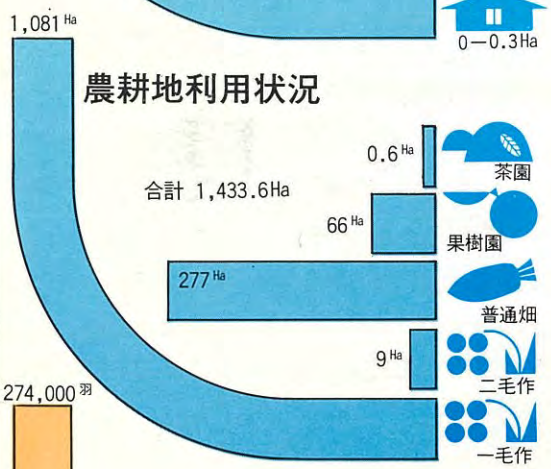
昭和36年10月に通水した愛知用水は、本市の東部を幹線水路が縦断し当地方の水源となって干害のない豊かな土地へと一大改革をもたらした。本市を通るこの幹線水路からは27本の支線によって農業用水が導入され、田約970Ha、畑約227Haが受益地となっている。さらに上下水道の大きな水源としてその価値は大きい。

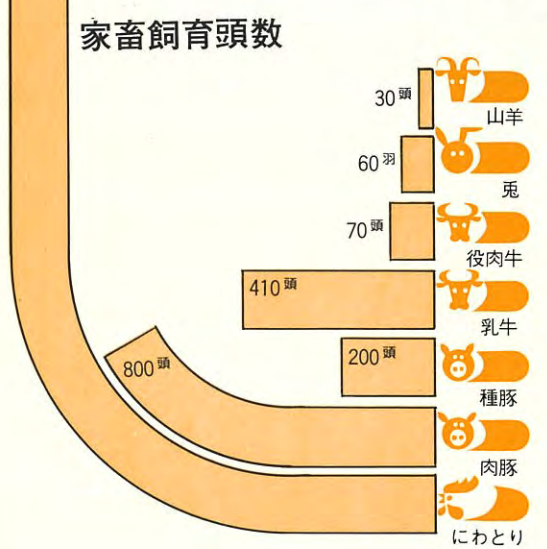
市内農業協同組合の概況

46. 4. 1. 現在

項目／組合名	組合所在地	支所数	正組合員戸数	組合員数 正	組合員数 準	組合員数 計	役員数 理事	役員数 内常勤	役員数 監事	職員数 総数	職員数 内女子	自己資本	固定資産 固定資産	固定資産 外部資産	貯金総額	共済事業契約高
			戸	人	人	人	人	人	人	人	人	千円	千円	千円	千円	千円
矢田	矢田字西根組22	—	316	391	123	514	7	1	3	17	6	39,871	75,753	8,665	534,088	79,255
久米	久米字東郷24の１	—	216	220	75	295	7		3	7	2	22,026	26,818	6,057	390,609	54,759
前山	金山字平井129	—	261	264	85	349	7	1	3	8	3	21,511	28,906	6,001	340,221	58,505
鬼崎	榎戸字浜田71	3	616	1,009	1,011	2,020	13		4	31	18	99,546	90,374	18,872	1,924,700	298,400
常滑市	字南屋敷72	9	1,079	1,348	4,579	5,927	19	2	4	111	50	299,398	278,924	54,004	8,226,344	720,798
西浦	熊野字中ノオミ29の3	3	400	407	520	927	11		3	18	8	55,187	39,707	12,877	1,133,821	182,645
計		15	2,898	3,639	6,393	10,032	64	4	20	192	87	537,539	540,482	106,476	12,549,783	1,394,362







農業基盤整備パイロット事業

市内の市街化調整区域の全域（3,897 *ha*）の土地利用区分を明確にし、それぞれの用途に適合する整地を行なうとともに、道路、用水路、排水路を充実する。また市街化区域における排水路の断面不足により事業区域の排水が不可能な水量はこの事業に含めて施行するものであり用水と排水を分離する。また、既設集落の生活環境整備事業として、集落内の道路整備および下水の処理施設の新設、子供の遊び場、集合所等も併せて施行する。なお営農に必要な近代化施設および大型機械の導入を図り、また陶磁器工場等の集団化を図るための用地緑地公園および公共施設用地等の確保も併せて推進するものである。

●水産業

本市の漁業は伊勢湾が対象で、長い海岸線に沿って北から大野、鬼崎（蒲池・榎戸）苅屋、小鈴谷（大谷、小鈴谷）の漁港と常滑港を有し、沖合の各所に人工築磯を設け伊勢湾内有数の漁業地である。
全国のモデルケースとなっている樽水海岸のコンクリートパイル防波柵、鬼崎漁港の湛水畜養場は有名であり、近年はとくに「のり」の養殖が盛んである。

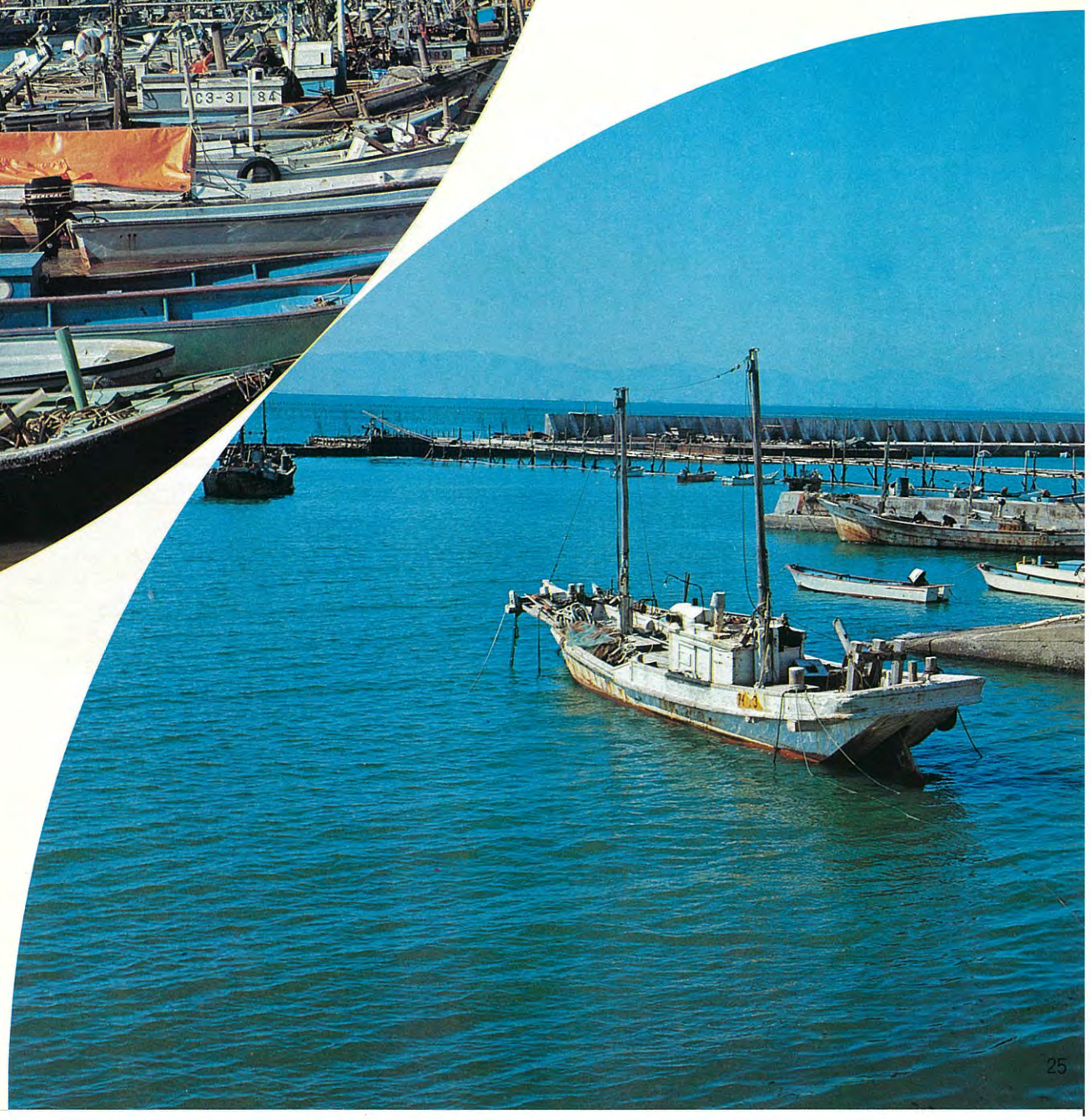
漁業別水揚高（組合別）

昭和45年度

組合別 ＼ 種別		魚類	貝類	のり	計
		kg	kg	千枚	千円
常滑	数量	371,355	40,150	26,065	
（278名）	金額	86,526	3,011	331,015	420,552
鬼崎	数量	154,056	55,170	25,905	
（267名）	金額	35,895	4,138	413,169	453,202
大野	数量	4,190		6,044	
（50名）	金額	976		82,009	82,985
小鈴谷	数量			30,790	
（305名）	金額			331,083	331,083
合計	**数量**	**529,601**	**95,320**	**88,804**	
（900名）	**金額**	**123,397**	**7,149**	**1,157,276**	**1,287,822**

鬼崎漁港

鬼崎漁港は市内北部の漁業基地であり新鮮な魚市場として活況を呈している。
漁港内にあるのり種苗場（564㎡）は良質の種苗を漁民に供給している。



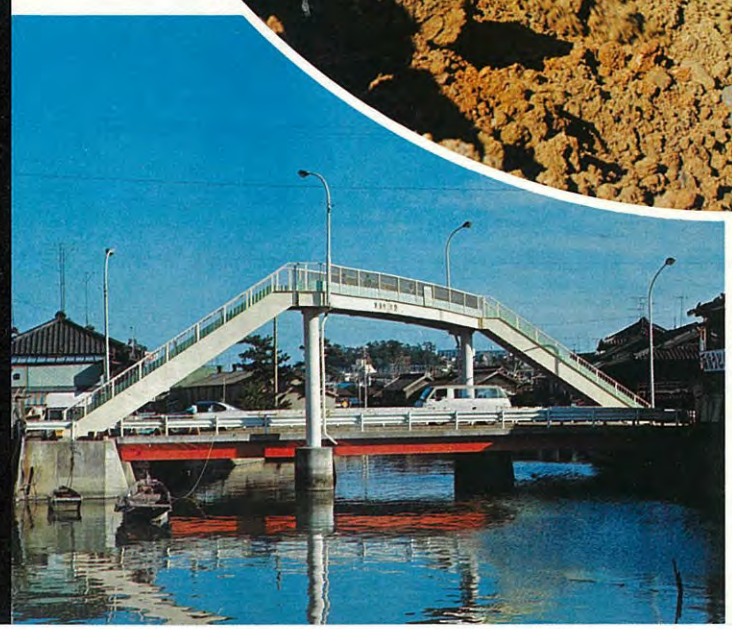
苅屋漁港

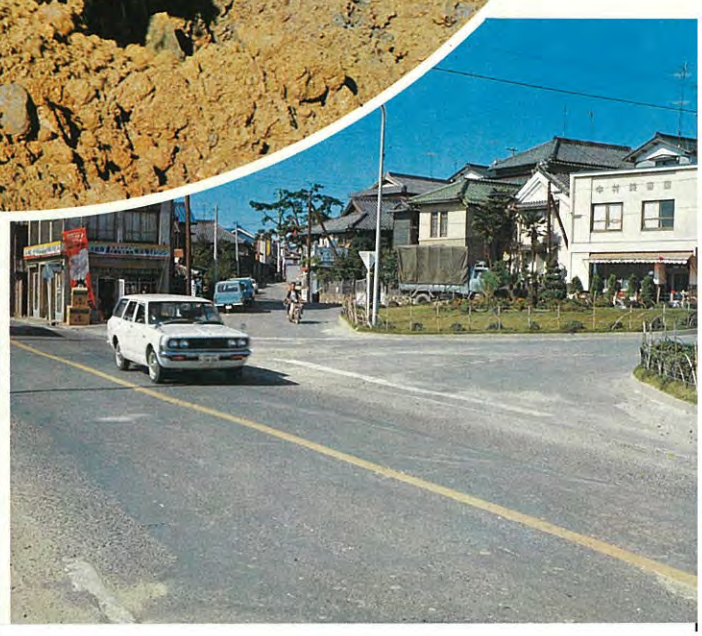
市内南部苅屋漁港は昭和39年に着工し、現在第４次整備計画に基づき、48年度完成目標に工費２億6200万円をもって築造中である。

●土木建築

明るく住みよい常滑市を……

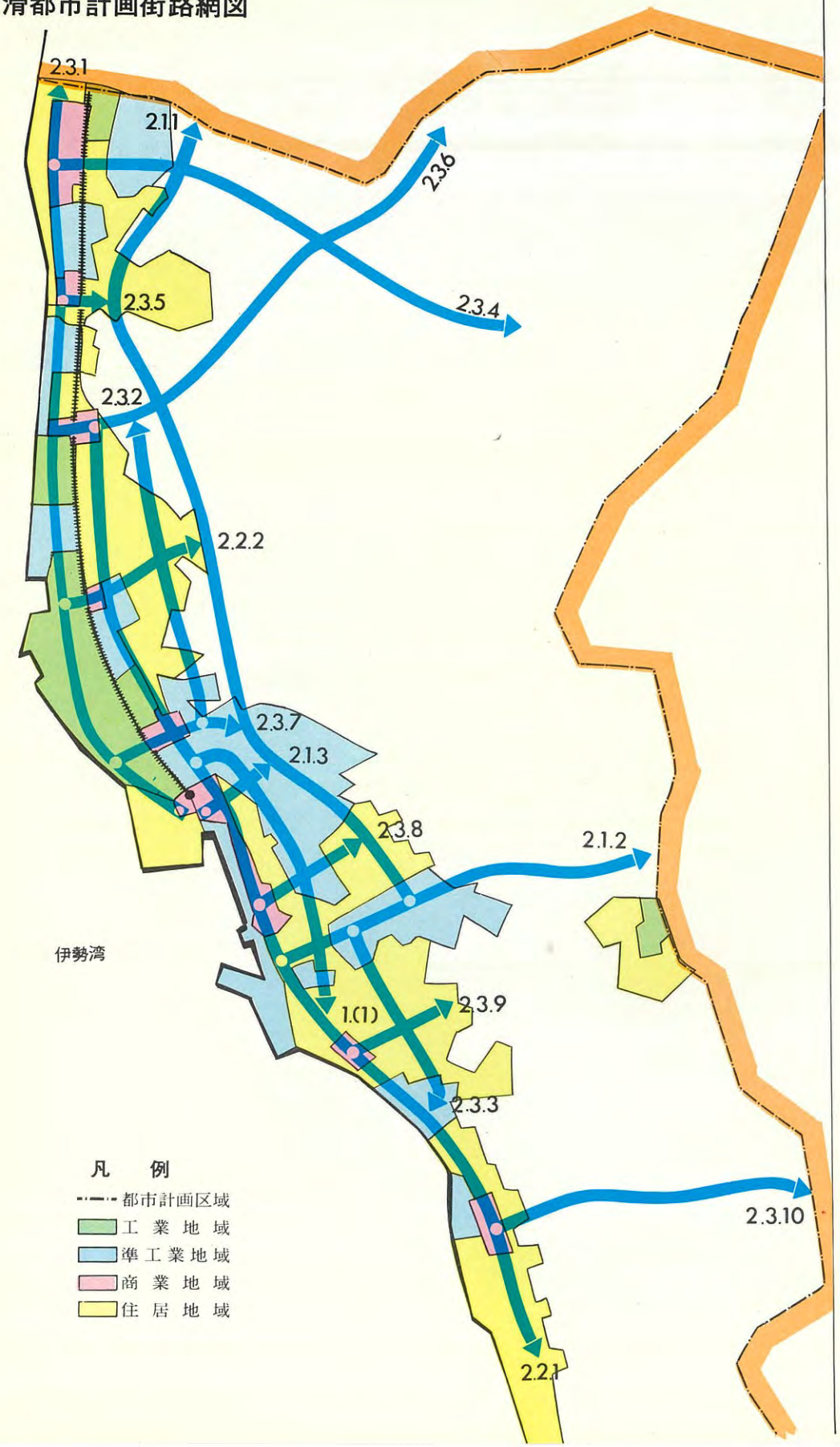
本市の都市計画は、市制施行前の昭和27年７月１日常滑、西浦および鬼崎の三町、人口３万人を対象区域として制定されたが、その後29年市制を施行、更に広域の都市計画が樹立された。このうち都市計画街路は昭和31年８月11日認可決定され、以後流動する地域社会の変化に対応し、市を縦断する国道のバイパス線の決定など部分変更を加え、現在知多西部線ほか18路線、総延長76,430ｍが計画されている。これらの路線のうち、常西線（３、５、16）は昭和40年度から５カ年計画事業として着工され、また大野久米線（３、５、10）瀬木線（３、５、15）は昭和42年度に着工される等、この都市計画にもとずく街路事業は計画的に着々と施行されている。また、土地利用計画にもとずく用途地域の指定を受け、さらに広域計画の必要性から愛知県新地方計画にもとずく知多広域開発を基盤とした総合的な計画を推進している。





NISSA
チェリー
Skipper

常滑都市計画街路網図



用途地域

本市将来の都市構成の健全な発展を期するため、土地利用計画に基づき、昭和65年の用途地域内人口を約85,000人と想定し、昭和33年３月14日都市計画用途地域の指定を受けた。その後、昭和46年２月15日都市計画用途地域の一部を変更した。

地域名	面積	比率
	ha	%
住居地域	608.9	58.05
商業地域	49.1	4.68
準工業地域	291.0	27.74
工業地域	100.0	9.53
計	**1,049.0**	

都市計画街路明細

街路番号			街路名称	巾員	延長
等級	類別	番号			
2	1	1	山手線	20m	6,670m
2	1	2	常半線	20	2,350
				16	1,410
			計		**3,760**
2	1	3	北条線	20	650
				22	220
			計		**870**
2	2	1	南北線	16	4,640
				18	1,580
				12	1,930
			計		**8,150**
2	2	2	鬼崎港線	16	950
				20～23	350
			計		**1,300**
2	3	1	海岸線	12	3,710
				16	2,430
			計		**6,140**
2	3	2	常東線	12	2,380
2	3	3	常西線	12	1,930
2	3	4	大野久米線	12	3,580
				16	150
				23	190
			計		**3,920**
2	3	5	青海山線	12	370
2	3	6	鬼崎三和線	12	3,780
2	3	7	浜田線	12	1,300
2	3	8	瀬木線	12	1,170
2	3	9	樽水線	12	790
2	3	10	桧原線	12	2,880
1	小	1	中央線	8	2,400

常滑市大曽公園

公園

市東部の丘陵地にある小高い山は伊勢湾を見おろす眺望の地としてハイキング、憩の場として市民に親しまれているが、近年福祉行政の重点施策として産業基盤整備型から環境整備に重点を置く生活基盤整備型になり、市街地内の公園づくりが進んでいる。現在、都市公園として大曽公園築造を昭和45年度より着手、面積17.4Ha内に、野球場、運動場、バレーコート、弓道場、児童園、遊歩道、駐車場等の施設を設け公園づくりを推進している。

●教育文化

公立学校

学校教育は「機会均等」の主旨から小学校、中学校の統合が行なわれ、その施設整備拡充には最大の配慮がなされた。まず昭和33年９月、三和、大野の両中学校が統合され、青海中学校を設立、34年11月鉄筋コンクリート２階建の校舎を建設、その整備拡充をはかり、また34年には未曽有の大災害をもたらせた伊勢湾台風により各学校の校舎は甚大な被害を受けたが、35年３月いち早くこの補修工事を完了、同時に三和東、三和南小学校を統合し三和小学校を、大野、三和西両小学校を統合し大野小学校をそれぞれ設置し、36年３月に西浦北小学校は鉄筋２階建近代的校舎に、さらに38年には西浦、小鈴谷の両中学校を統合し南陵中学校を設置し、第一期工事は39年８月に完成、第二期、第三期の全体計画を44年に完成させ鉄筋３階建の近代的校舎となった。

また、危険校舎の改築、人口増、社会増に対処するための増築工事を始めとし、児童生徒の学習効果を高め、生活環境の合理化をはかるため、既設木造校舎を鉄筋コンクリート構造の永年建造物へと改良するための整備計画を年々推し

南陵中学校

すすめている。常滑小学校は第１期工事を38年６月に完成して以来第二、第三期工事を経て第四期工事をもって全校舎の計画を完了し北棟３階建、南棟４階建の外観内装ともに卓越した大規模な近代的校舎となった。鬼崎北小学校は第一期工事を41年３月建設、第二第三期の全体計画を完成し、北棟３階建、南棟２階建の校舎のほか、屋内運動場、学校プールも建設、いち早く全施設の整備を完了した。このほか、鬼崎、常滑中学校、大野、鬼崎南、西浦北、西浦南、小鈴谷各小学校についても校舎建設が着々進められ、三和小学校の移転用地も決定、計画が進められている。

また、児童生徒の体位向上と健康増進と、併せて市民総健康運動の一環としての体力づくりの場として、各学校に屋内運動場が計画され、すでに６小学校、３中学校に建設を完了し、教育施設の整備拡充は実にめざましいものがある。

鬼崎北小学校

緑の学園づくりに

三つ児の魂百までという。幼児はものごとを素直に受け入れる。この素直な子供時代に、交通安全と情操教育が熱心に指導されている。年々近代施設に改築される市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校はいずれも将来緑の学園として構想され、植樹が行なわれつつある。小高い丘に建ち、伊勢湾を見おろし、緑に囲まれた学園での情操教育は子供らの将来に大きな期待をいだかせる。

市立学校規模（幼・小・中）

昭和46. 5. 1現在

区分 / 校別	生徒数	学級数	教員数	規模		
				校舎	運動場	校地総面積
	人			㎡	㎡	㎡
三和東幼	41	2	3	496	1,350	3,352
三和南幼	76	3	4	754	2,614	6,020
常滑幼	142	6	7	902	1,758	3,755
合計	**259**	**11**	**14**	**2,152**	**5,722**	**13,127**
三和小	407	12	16	2,368	9,103	14,357
大野小	558	15	19	2,691	10,063	17,699
鬼崎北小	412	12	15	3,920	9,407	18,275
鬼崎南小	882	22	28	4,690	5,974	18,532
常滑小	1,761	43	52	9,148	8,000	21,696
西浦北小	493	14	17	3,535	5,778	13,678
西浦南小	281	10	14	2,040	5,175	13,151
小鈴谷小	409	12	15	2,600	6,868	18,119
合計	**5,203**	**140**	**176**	**30,992**	**60,368**	**135,507**
青海中	425	11	20	4,752	16,779	28,786
鬼崎中	563	14	23	4,263	22,430	47,164
常滑中	826	20	34	6,111	16,818	37,443
南陵中	553	16	26	5,952	15,581	26,817
合計	**2,367**	**61**	**103**	**21,078**	**71,608**	**140,210**

西浦北小学校

常滑市民体育会館

「体育の日」がはじめて国民の祝日となった昭和41年10月完成、公民館と体育館の機能を有するユニークな建物である。館内には、サーキットトレーニング室が設けられ、健康で強く美しくをモットーに市民の多数がトレーニングに参加している。別に市民会館的な利用もされ施設利用は充分になされている。

市立図書館

市立図書館は、市民体育会館の隣りに、昭和45年に着工し、同年８月31日に総工費１億3800万円で完成し、10月１日より市民に開館された。
館内の蔵書数は28,000冊余りあり、広く市民に利用されている。

ブック・モービル

一般閲覧室

なかよし文庫

ブラウジング

学校プール

児童生徒の体位向上と健康増進をはかり、安全かつ衛生的な水面で、水泳訓練の指導効果を十分高めるため、各小中学校にプール建設計画が進められている。

まず、昭和44年に青海中学校に建設されたのを始めとし、45年には鬼崎、常滑、南陵中学校に、46年には鬼崎北、常滑、西浦北小学校に建設を完了した。

常滑小学校は水面25m×18.6m、高学年用６コース、低学年用３コースの特別大型プールを、他校は標準型の水面25m×15m、高学年用５コース、水深1.10m～1.30m、低学年用２コース、水深0.60m～0.80mの地上盛土型、鋼板製プールで、浄化装置、更衣室、便所等附属設備も完備している。

この他、市内中心部に市営プール（50m７コース公認プール１面、25m９コースプール１面、幼児用プール１面）があり、一般市民に利用されている。

市野外教育センター

児童生徒の自然環境に対する共同生活を通じて、心身の健全な発達を図ることを目的として、北設楽郡設楽町の町有施設旧八橋小学校に設置されました。

新鮮な空気、緑の山々、涼しい夏、山間設楽町（常滑から車で３時間～３時間30分）は臨海の市内児童生徒には、活気に満ちた共同生活の場が与えられています。

野外活動をするための受水槽、流し場、カマド、便所等の設置、また７人用のテント20張をはじめ、キャンプファイヤー場の整備もなされている。

北調理場

学校給食共同調理場

昭和40年４月、常滑市学校給食共同調理場として完全給食（Ａ型毎週５回）が実施され、さらに昭和45年４月から北調理場を開設し、市内小中学校並びに幼稚園、保育園の給食を共同調理場で一本化し、完全給食が実施されました。

両調理場の給食可能数は12,000食で、現在実施校（園）は小学校８、中学校４、幼稚園、保育園16の合計28施設10,500食の給食を実施している。

施設は大別して調理室、洗浄室とを区分して設計され、特に北調理場には栄養指導センターが設置され、市内一般婦人団体の栄養、調理指導並びに研修が行なわれている。

南調理場

●社会福祉

社会福祉事業は生活保護をはじめ児童、老人、母子、身体障害者ならびに精神薄弱者、その他の福祉各法の趣旨にしたがい援護、育成および更生のための業務がおこなわれている。

施設のうち13の保育園は全部市立であり、園児および乳児を受け入れる充分な整備がなされている。また、老人の福祉施設として養護老人ホームを建設し、昭和46年1月からは高令者の医療費無料化を図り、すでに実施している市の老人年金の交付など福祉の向上につとめている。

小鈴谷南保育園

西浦北保育園

市立保育園一覧

46. 8. 1. 現在

園別	認可年月日	定員 乳児	定員 幼児	実人員	保母数	園別	認可年月日	定員 乳児	定員 幼児	実人員	保母数
三和西保育園	36. 10. 27		90	120	6	常滑南保育園	28. 6. 19		125	263	9
大野保育園	23. 4. 1		130	134	6	西浦北保育園	23. 4. 1	20	180	188	10
鬼崎北保育園	29. 6. 1	25	225	201	9	西浦中保育園	31. 3. 31	15	135	101	7
鬼崎中保育園	44. 1. 1	22	198	215	12	西浦南保育園	25. 5. 22		90	113	6
鬼崎南保育園	27. 6. 30	28	252	264	13	小鈴谷北保育園	31. 10. 1	7	73	120	6
常滑北保育園	24. 7. 1	46	204	321	17	小鈴谷南保育園	38. 4. 1	10	90	80	5
常石保育園	42. 4. 1	15	160	240	12	梶間保育園	47. 4. 1 予定	18	162		
						計 14 園		206	2,114	2,360	118

公営住宅

よりよい生活向上を目指し、年々約25戸･公営住宅が建設されている。この市・公営住宅は将来の地域開発計画と併せて、住宅地帯としての開発の一環となっている。また、国の施策の一世帯一住宅を目標に昭和45年度から住宅５か年計画で中層耐火構造４階建の建設に着手し、住宅対策に前向きで着実に推進している。

坂井市営住宅

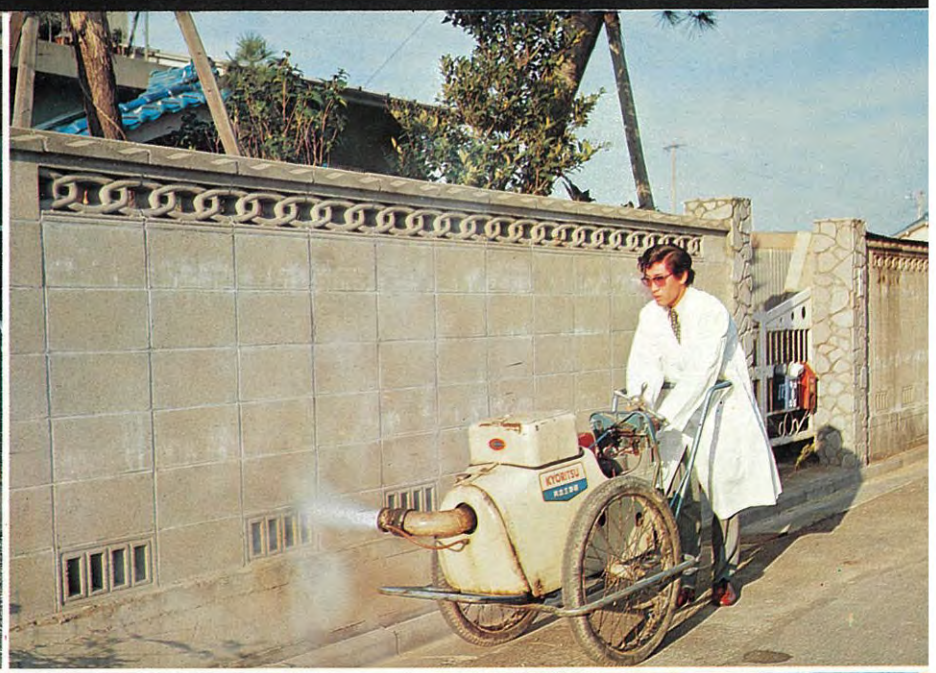
養護老人ホーム

市立養護老人ホームは緑と自然に恵まれた市内金山地内に、50人の老人が生活できるように建設されており、建物は鉄筋平屋建（食堂、集会室、医務室、管理室等）と２階建(居室)の２棟1,360㎡。

ホームでの生活は心身の健康保持のため日課を定め、毎日を楽しく有意義にすごせるよう趣味のクラブ活動、講習会の開催、娯楽器具の設備あるいは一日バス旅行等のレクリェーションも行なわれ、希望に満ちた、いきがいのある生活ができるように配慮されている。

●保健衛生

市民の健康を保護し、住みよい生活環境を保全する立場から予防接種、結核検診、成人病検診および母子保健事業等を定期的に実施し、市民の健康管理にあたっている。
また、生活環境の保全についてはエンジンダスターによる一斉防除等により、ハエ、カ、ねずみ等の防除を実施しているが、最近特に深刻化されてきた公害問題については、大気汚染装置等の設置により汚染の実態を調査すると共に、業界等とも連絡を保ちつつ事業所等の改善指導、苦情処理にあたっている。



ごみ処理

一般家庭から排出される可燃性ごみ、並びに危険物は、近年生活水準の向上、化学製品の発達等からごみの質は悪化し、しかも排出量は年々増加の傾向にあり、これらの処理は、現在週２～３回の収集体制をとり、清掃車８台で業者委託により回収集を行なっている。ごみ処理場は隣接武豊町と一部事務組合を設立し、１日40トンの処理能力をもち、焼却処理に当っている。また危険物類の処理については、現在市有地への埋立処分により万全を期している。

し尿処理

し尿のくみ取り世帯は、現在約7800世帯（収集率60パーセント）であり、これらの処理は定期的収集と共に、申し込みと同時に収集出来る体制をとり、バキューム車６台で業者委託により収集を行なっている。

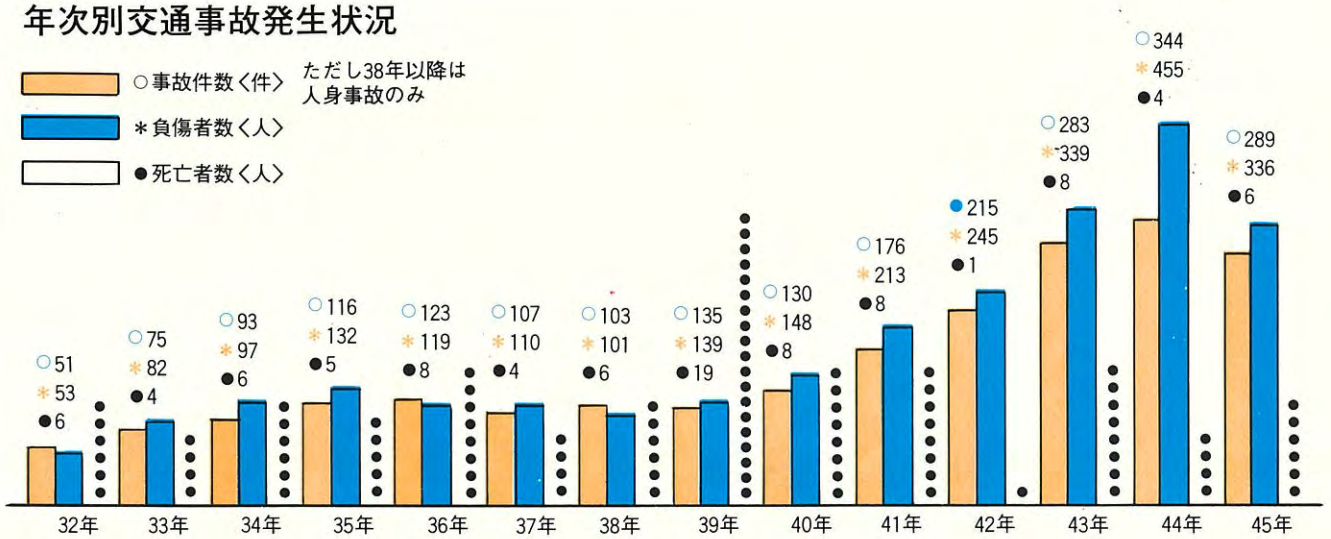
し尿処理場は隣接の半田市および武豊町の２市１町で組合を設立し、38年９月に１日135キロリットルの処理施設を建設し化学的処理に当っている。

●交通安全

本市の重要な施策とされている交通事故防止は、年々急増する自動車に加え自動車交通量の激増は交通事故の激増につながり、昭和39年には19名の死亡者を出すにいたり、市長、市議会を先頭に全市一体となって交通事故防止運動が展開された。

43年３月には市の中心部に交通安全センターを完成、市内全児童が訓練さらに老人クラブ、青年団、ママさん、事業所と各種団体もこのセンターを交通安全道場として事故防止のための努力がなされている。

年次別交通事故発生状況

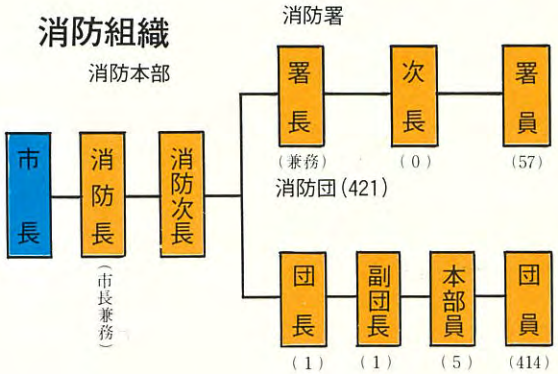


消防

水火災から住民の生命、身体および財産を護る消防は本市が海岸線が長く、台風、津波等による災害の防除および火気を多量に取り扱う窯業地を主体とした産業都市であることから、水火災の予防およびその被害の軽減に特に重点が置かれている。

昭和29年市制施行とともに、消防団も従来の地域的消防団を脱皮し、機械化、少数精鋭主義をとり、昭和31年統合、さらに昭和40年１月常備消防本部、署を設置すると同時に庁舎を市街中心に建設、年々その施設の強化を図ると同時に消防団をさらに再編成し、一方、市民に対しては水火災の予防思想の普及がなされている。

消防組織



火災、救急状況

	45年度
火災発生件数	62
救急出動件数	451

●治安

本市の治安にたずさわる東海警察署は本市に派出所２、駐在所３所があり、警察官30名が配置されている。このほか住民の防犯体制として防犯協会があり、市内に28名の防犯支部長と453名の防犯委員が配置されている。

●交通

本市は中部圏の核心名古屋市からは名古屋鉄道常滑線の終点常滑駅に45分で到着する。市内には６駅があり１日平均２万余人の乗降がある。これら乗降客の大半は名古屋方面への通勤、通学であり、このほか観光地知多半島南端あるいは東海岸の半田市方面へは終点常滑駅から知多バスが利用される一方、自動車では名古屋から国道247号線が南下し本市と結んでおり交通の便は良い。朝夕の通勤時に自転車、バイクの多いのも本市の特徴である。

更らに本年国道247号線のバイパス路線産業道路も近々着工される。

市内自動車保有台数

種別	原付自転車			二輪の小型自動車	特殊車	軽自動車		現在
	50cc以下	90cc以下	125cc以下			二輪車	三輪車	四輪車
台数	2,654	1,[illegible]	620	193	212	272	66	4,[illegible]90

貨物			被けん引車	乗合用営業車	乗用			合計
普通車	小型４輪	小型３輪			普通車	小型４輪	特殊車	
473	2,239	298	8	67	25	4,742	172	18,017

名鉄電車市内各駅利用状況 45年度

駅別	1年間乗降客	1日平均
	千人	人
常滑	3,776	10,450
多屋	130	360
榎戸	477	1,320
蒲池	398	1,110
西ノ口	510	1,410
大野町	3,084	8,530

常滑港移出入状況

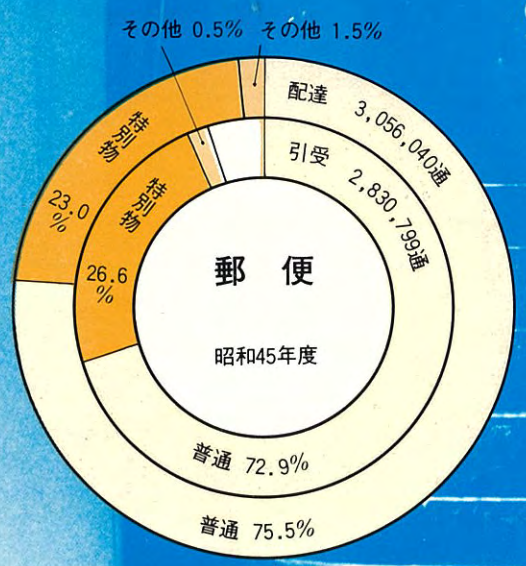
昭和45年度

移出 品種	数量	仕向
陶磁器類	30,510t	関西 中国
陶磁器類	99,890t	四国 九州
その他	3,000t	
計	133,400t	

移入 品種	数量	仕向
石炭	54,450t	九州
土石材	208,609t	関西 岐阜
その他	27,800t	関西
計	290,859t	

●通信

郵便集配の敏速化能率化をはかるため市内の郵便局は38年11月に機構改革を実施して集配の１本化を計り、常滑郵便局を普通局に昇格させる一方、集配特定局１、無集配特定局８の合計10局とした。
市民１人当りの配達数約43通で引き受け数にくらべ10%ほど多くなっている。

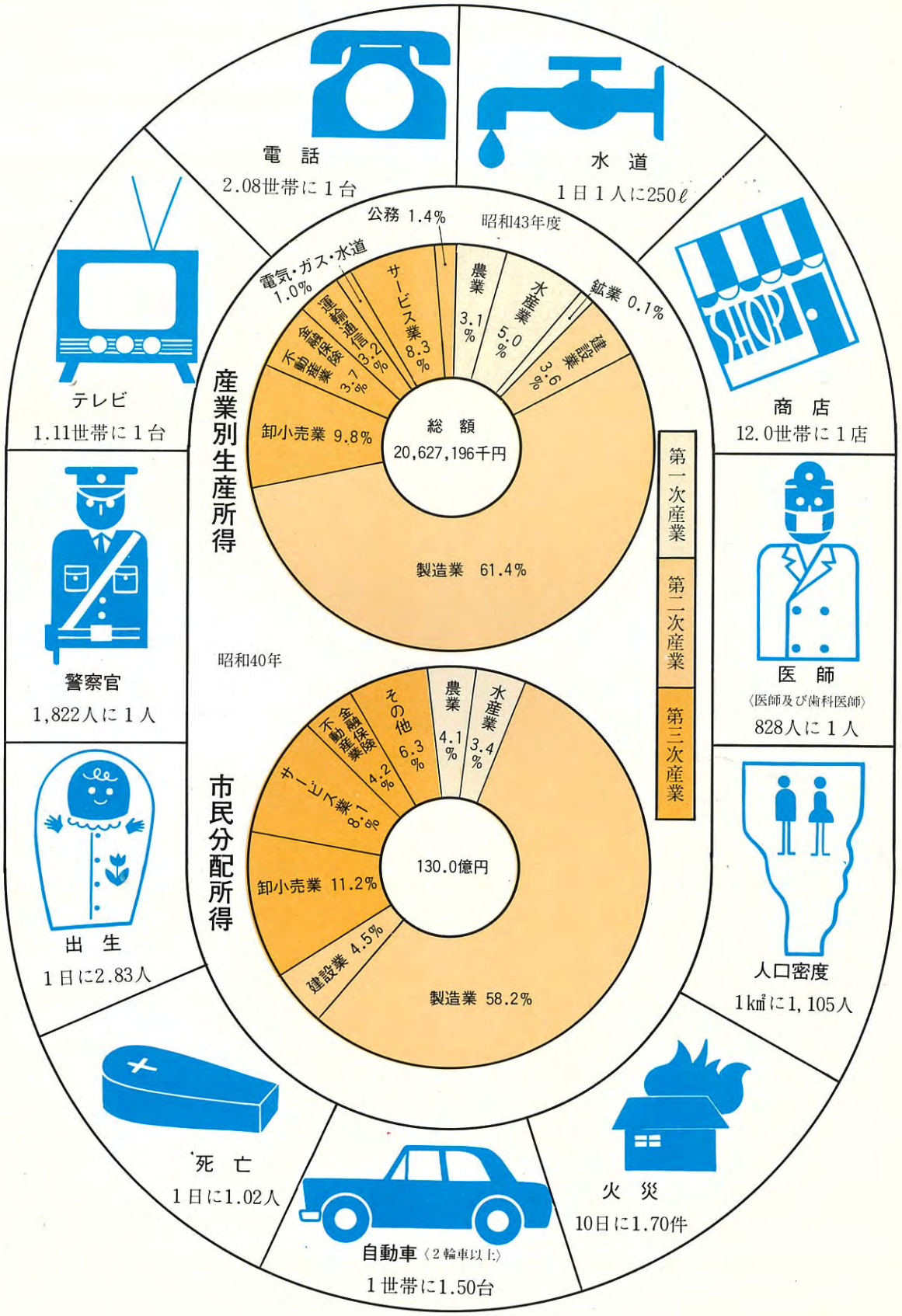


電話、テレビ、有線電話状況

昭和45年度

		加入数	加入率
電話加入数		6227	48%
テレビ	カラー契約	3149	90%
	普通契約	8558	
有線放送電話加入数		8638	67%

●市民生活


電話
2.08世帯に1台
水道
1日1人に250ℓ
商店
12.0世帯に1店
医師
〈医師及び歯科医師〉
828人に1人
人口密度
1㎢に1,105人
火災
10日に1.70件
自動車〈2輪車以上〉
1世帯に1.50台
死亡
1日に1.02人
出生
1日に2.83人
警察官
1,822人に1人
テレビ
1.11世帯に1台
産業別生産所得
昭和43年度
総額
20,627,196千円
公務 1.4%
電気・ガス・水道 1.0%
サービス業 8.8%
運輸通信 2.3%
金融保険 7.3%
不動産業 3.1%
卸小売業 9.8%
製造業 61.4%
農業 3.1%
水産業 5.0%
鉱業 0.1%
建設業 3.6%
第一次産業
第二次産業
第三次産業
昭和40年
市民分配所得
130.0億円
その他 6.3%
農業 4.1%
水産業 3.4%
金融保険不動産業 4.2%
サービス業 1.8%
卸小売業 11.2%
建設業 4.5%
製造業 58.2%

●観光

鬼崎ヨットハーバー▶

鬼崎ヨット・ハーバーは日本屈指の最適地として名古屋大学を始めとし大学、実業団の艇庫が置かれており、大型艇約30隻、小型艇約120隻が基地として利用している。太平洋を横断した「チタ２世号」グループの基地であり、毎年全国のヨット競技が行なわれ東海地方ハーバーである。

大野･坂井海水浴場▶

市内には大野海岸と坂井海岸に海水浴場がある。このほか砂丘のある鬼崎地区の海岸一帯も海のレジャーを楽しむ人で賑わう。ことに家族連れで賑わう大野海水浴場は潮湯台といわれ、古来から親しまれた海水浴場として世界最古といわれている。

名古屋中心部から40分の近距離にあり、波静かな伊勢湾に近代的施設を完備し、家族ぐるみのレジャーに快適な県内有数の海水浴場である。遠浅の坂井海岸は春の潮干狩りに夏は海水浴、海釣りで賑わう。

絵付け◀

だれでも、いつでも、きがるに焼き物にしたしむ絵付け。書、画、座右銘などのオーソドックスからサイケ調までいろいろ。
絵付けの良さはたのしみながら陶芸に接し、特色ある地域芸術の理解と認識を深めることにある。
市立の陶芸研究所の工房は一般にも解放されやき物の研究とリクレーションを兼ねて絵付けに訪れる人は絶えない。

海釣り◀

伊勢湾に臨む海岸線一帯は沖釣り、磯釣りが盛ん。沖釣りは常滑、鬼崎および大野から釣り船がでて、キス、コチ、マダカ、タコ、フグズイ、カニなどがよく釣れる。
春から秋にかけて釣り大会も盛んに開かれる。磯釣りは海岸一帯の防波堤で、アイナメ、キス、チンタなどが釣れ、一日中太公望を味わう人も多い。

本宮山▶

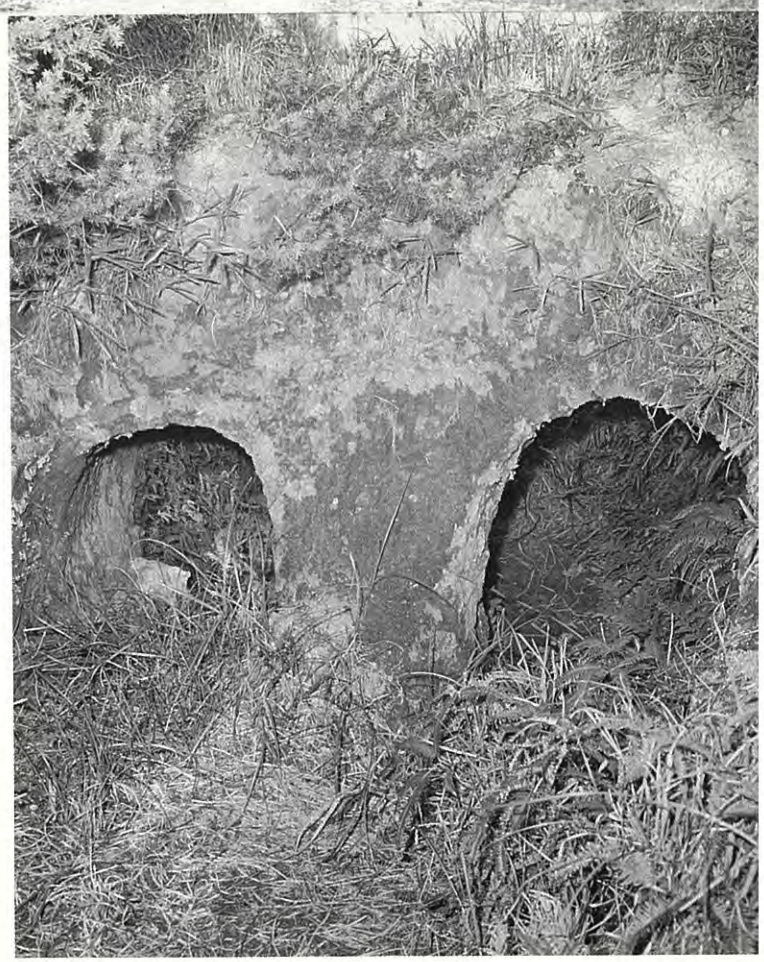
知多半島第２の高地で、伊勢湾および三河湾を一望におさめ、眺望雄大なこの山は、ハイキング、キャンプ地として最適である。
山頂は本宮祠を祠り、毎月１日が参詣日である。

斉年寺 雪舟慧可断臂図▼

国重要文化財
禅宗の開祖ダルマに、のちに第２祖となった慧可（えか）が弟子入りをこうたのを描いたもので雪舟77才の作品である。

古窯跡▶

今から900年前、平安末期から鎌倉、室町末期にかけて市内丘陵部一帯に3000をこえる窯がきづかれ、世界にも類例のない壮観さを呈していたものと推定される。これらの窯は山腹の砂層に穴を掘って、そのまま窯にした「穴窯」で附近の雑木を燃料にして焼かれたようである。特に市内東北部篭池地内の古窯跡は県文化財となっている。



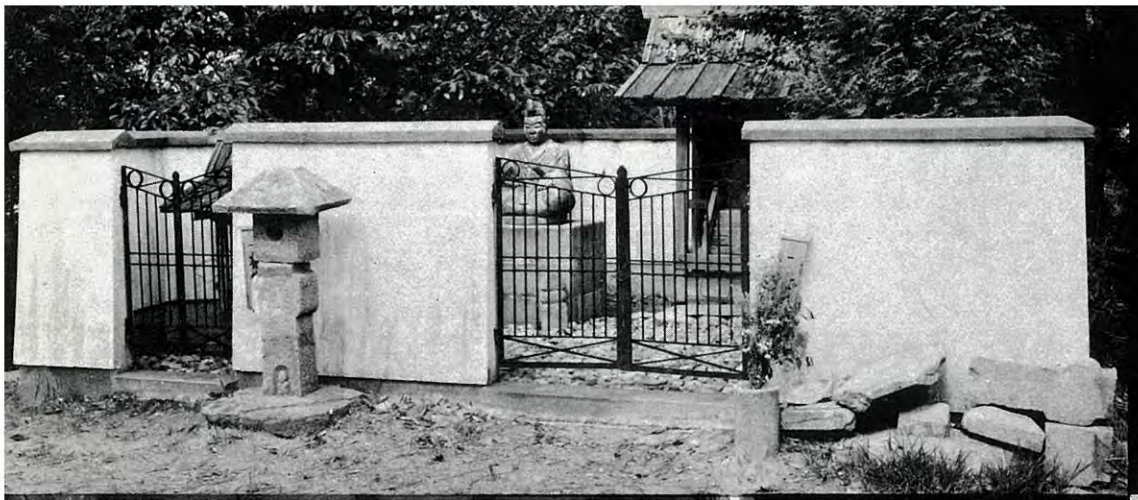
常滑市内における指定文化財

○国指定文化財
紙本淡彩恵司断臂図１幅（大野町斉年寺蔵）

○県指定文化財
高久隆古作品群18面（保示正住院蔵）
木造阿弥陀如来立像１軀（西阿野高讃寺蔵）
木造聖観音菩薩立像１軀（西阿野高讃寺蔵）
木造仁王像２軀（西阿野高讃寺蔵）
篭池古窯１基（久米字篭池）

○市指定文化財

●有形文化財
竹腰三信公の石塔１基（榎戸龍雲寺在）
鯉江方寿翁陶像１基（瀬木地内）
鰐口２点（大野町海音寺、久米盛泉寺在）
古過去帳（大野町東龍寺蔵）
弥生土器（教育委員会所蔵）
縄文土器（教育委員会所蔵）
磨製石剣（教育委員会所蔵）
元金蓮寺什器６幅（石瀬中之坊寺蔵）
円光大師画伝６面（大野町光明寺蔵）
円光大師涅槃像１幅（大野町東龍寺蔵）
仏涅槃図１幅（奥条宝樹院蔵）
木造聖観音立像１軀（小倉三光院蔵）
木造阿弥陀如来座像２軀
（奥条宝樹院、樽水洞雲寺蔵）
木造十一面観音立像２軀（奥条宝樹院、大善院蔵）
木造阿弥陀如来立像１軀（大野町光明寺蔵）



◀大野城趾

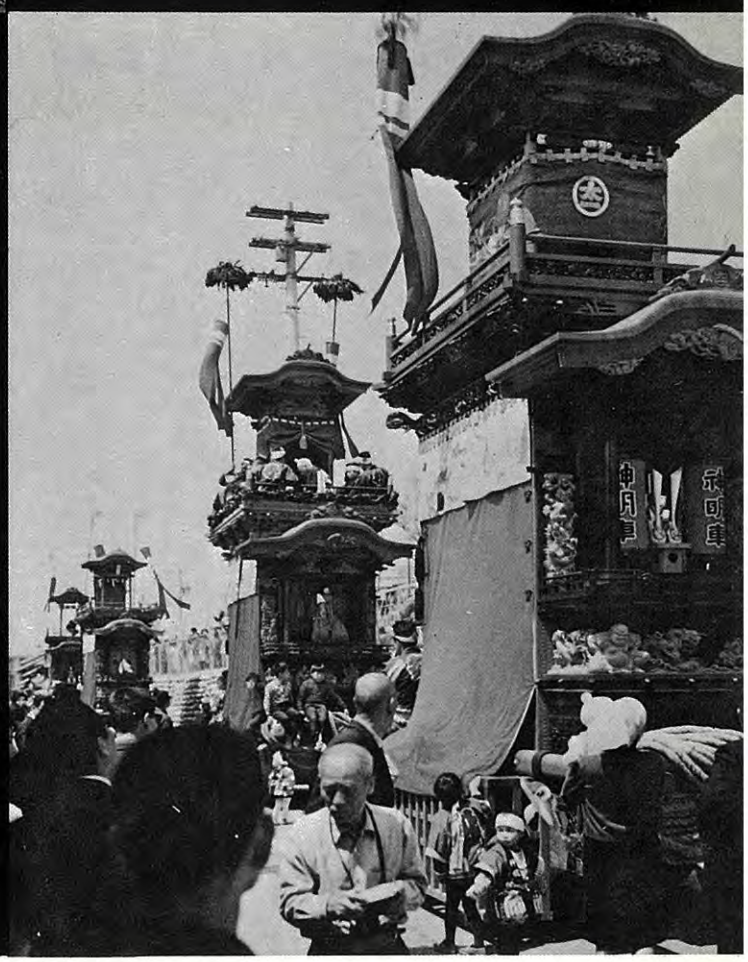
大野駅から東南へ２キロ、西之口駅から東へ１キロ、大野佐治時代にわたる城趾であり、本市北部と伊勢湾を一望におさめる、眺望佳麗の地、隣接は青海団地が造られ山容は一変して明るく拓かれた。

祭礼▼

市内の祭礼は春祭りとして４月中旬に一せいに行われる。この日は山車、催しものと地区ごとに多彩を競い、全市を祭り気分でわきたたせる。

高讃寺・仁王像◀

高讃寺は天武天皇勅願の霊場といわれ、往古300の坊宇があったが、数度の兵火で焼失し現在は残りの一宇のみであるが、境内の仁王門と周囲をおおう松、桜、楓が茂り寺蹟をしのばせる。仁王門にある仁王像２体は鎌倉時代の作、このほか木造の阿弥陀如来立像、聖観音菩薩立像（平安時代の作品）がありいずれも県文化財の指定をうけている。

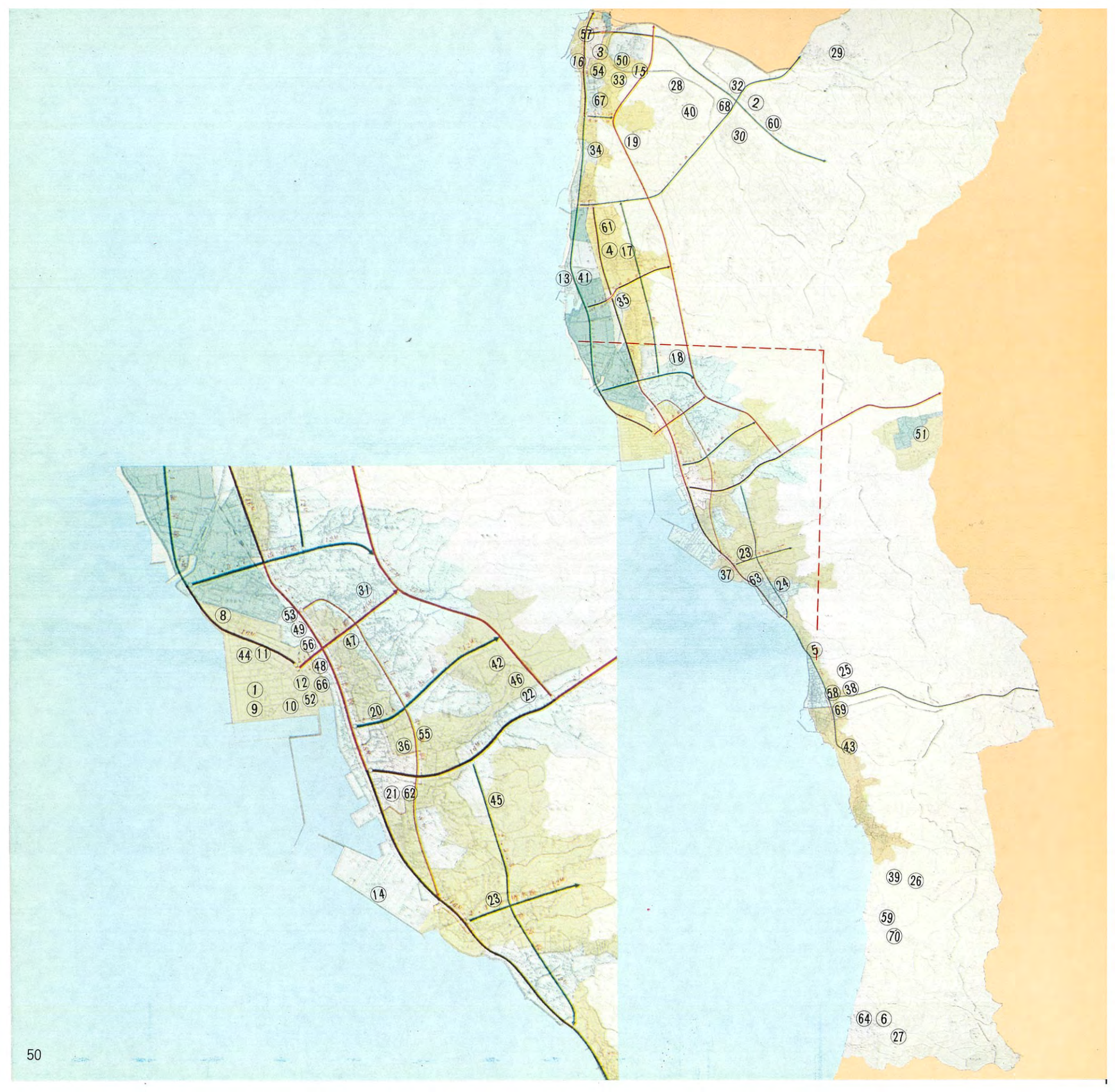


●無形文化財
常滑焼工法「紐造り」（技術保持者松下松長氏）
紅葉車あやつり人形芸能（大野町）
常石車三番叟芸能（奥条）
神明車祭囃子（北条）
常石車祭囃子（奥条）
蓬来車祭囃子（大谷浜条）
東桜車祭囃子（大谷奥条）
紅葉車祭囃子（大野）

●民俗資料
白鴎伝の石碑１基（保示正住院在）
あやつり人形の首36個（大野内容御祭宮社蔵）
絵馬１面（矢田薬師堂蔵）
経石塔２基（榎戸地内）
鯉江方寿翁家の墓１基（瀬木地内）

●史跡
桧原山古窯址群（西暦1100年頃からの古窯）
高坂古窯址群（西暦1100年頃からの古窯）
多屋古窯址群（西暦1100年頃からの古窯）
常滑城址（山方地内）
大野城址（宮山地内）
石瀬貝塚（石瀬地内）

●天然記念物
びゃくしん(いぶき)（大野町平野昭三氏宅所在）
いぶき１樹（奥条大善院在）
防風林（榎戸地内）
松２樹（小鈴谷宝珠院在）


57
3
16
50
54
15
33
29
28
32
67
40
68
2
60
30
19
34
61
4
17
13
41
35
18
51
23
37
63
24
31
8
53
49
56
47
44
11
48
42
46
22
12
66
1
9
10
52
20
55
36
21
62
45
14
5
25
58
38
69
43
39
26
59
70
64
6
27

市内官公署一覧

電話市外局番　常滑〈05693〉大〈05694〉

	名称	所在地	電話	有線
①	常滑市役所	字鯉江新開476	代(5)5111	21－111
②	三和出張所	久米字東前田46	大(2)0142	21－331
③	大野出張所	大野町字十市鍛76の1	大(2)0001	21－341
④	鬼崎出張所	榎戸字浜田93の2	大(2)0475	21－351
⑤	西浦出張所	熊野字南馬場32	(5)2369	21－361
⑥	小鈴谷出張所	坂井字中田12	(7)0004	21－371
⑦	常滑市教育委員会	字鯉江新開476	代(5)5111	21－291
⑧	常滑市民病院	字鯉江新開1の1	代(5)3170	21－381
⑨	常滑市営プール	字鯉江新開476	(5)2797	52－421
⑩	競艇事業部	字鯉江新開475	代(5)5211	21－411
⑪	常滑市民体育会館	字鯉江新開14の83	(5)4611	21－441
⑫	常滑市消防署	字鯉江新開46	(5)2600	119
⑬	学校給食北共同調理場	榎戸字新田山43の1	大(2)0773	43－447
⑭	学校給食南共同調理場	字保示400	(5)4001	59－134
⑮	常滑市立三和西保育園	金山字郷前7	大(2)0769	29－337
⑯	常滑市立大野保育園	大野町字十砂54	大(2)1400	31－685
⑰	常滑市立鬼崎北保育園	西ノ口字植畑97	大(2)0612	42－635
⑱	常滑市立鬼崎中保育園	榎戸字金荒子182	大(2)0772	43－335
⑲	常滑市立鬼崎南保育園	多屋字森後39	(5)2877	45－667
⑳	常滑市立常滑北保育園	字北屋敷8	(5)2437	53－694
㉑	常滑市立常滑南保育園	字市場93	(5)2723	57－283
㉒	常滑市立常石保育園	字樋掛43	(5)4823	55－324
㉓	常滑市立西浦北保育園	樽水字平井147	(5)3147	61－737
㉔	常滑市立西浦中保育園	西阿野字唐崎85	(5)3152	63－237
㉕	常滑市立西浦南保育園	古場字廻間55	(5)4100	65－432
㉖	常滑市立小鈴谷北保育園	大谷字井戸尻13	(7)0164	71－115
㉗	常滑市立小鈴谷南保育園	坂井字中山25	(7)0055	74－388
㉘	養護老人ホーム	金山字屋敷30	大(2)0771	27－135
㉙	常滑市立三和東幼稚園	矢田字東根組37	大(2)0143	24－597
㉚	常滑市立三和南幼稚園	金山字平井120	大(2)0774	26－361
㉛	常滑市立常滑幼稚園	字原松45	(5)2124	51－583
㉜	常滑市立三和小学校	久米字西郷18	大(2)0749	25－361
㉝	常滑市立大野小学校	大野町字砂鍛市120	大(2)1011	31－721
㉞	常滑市立鬼崎北小学校	西ノ口字上げ61	大(2)0222	41－667
㉟	常滑市立鬼崎南小学校	多屋字名残82	(5)2422	45－972

	名称	所在地	電話	有線
㊱	常滑市立常滑小学校	字屋敷田3	(5)2104	21－451
㊲	常滑市立西浦北小学校	樽水字塩田75	(5)2164	61－164
㊳	常滑市立西浦北小学校	古場字栗下前5	(5)4002	65－431
㊴	常滑市立小鈴谷小学校	大谷字井戸尻2の2	(7)0021	71－116
㊵	常滑市立青海中学校	金山字南平井13の1	大(2)0331	28－252
㊶	常滑市立鬼崎中学校	榎戸字新田山1	大(2)0221	43－436
㊷	常滑市立常滑中学校	字土取畑10	(5)2375	21－461
㊸	常滑市立南陵中学校	苅屋字加茂10	(5)4005	67－515
㊹	常滑市立図書館	字鯉江新開19－47	(5)2217	54－396
㊺	県立常滑高等学校	字徳磯49の3	(5)2132	55－491
㊻	常滑市立陶芸研究所	字樋掛45	(5)3970	54－151
㊼	常滑市陶磁器会館	字師ケ谷25の1	(5)2033	53－652
㊽	常滑市交通安全センター	字鯉江新開483	(5)5384	
㊾	名古屋法務局常滑出張所	字中郷93の53	(5)2581	52－256
㊿	愛知食糧事務所知多支所常滑出張所	大野町字十市鍛76の1	大(2)0206	21－343
(51)	愛知県常滑窯業技術センター	字三ツ池48の88	(5)5151	55－183
(52)	愛知県半田土木事務所常滑分所	字鯉江新開474	(5)2045	52－416
(53)	愛知県知多保健所常滑支所	字鯉江新開57	(5)2537	52－246
(54)	愛知県常滑農業改良普及所	大野町字十市鍛76の1	大(2)0001	21－342
(55)	常滑電報電話局	字屋敷田46の1	(5)4245	
(56)	常滑郵便局	字中郷107	(5)2453	52－275
(57)	尾張大野郵便局	大野町字十市鍛31	大(2)0660	31－626
(58)	尾張西浦郵便局	古場字柳67の5	(5)4257	
(59)	小鈴谷郵便局	小鈴谷字梶田73の1	(7)0042	72－361
(60)	尾張三和郵便局	久米字東郷5の1	大(2)1908	
(61)	鬼崎郵便局	榎戸字新町南6163	大(2)1909	
(62)	山方郵便局	字山方118の1	(5)4258	
(63)	樽水郵便局	樽水字鳥出山4の6	(5)4259	
(64)	坂井郵便局	坂井字浜田6の3	(7)0045	
(65)	多屋郵便局	多屋字後条131－6	(5)4810	
(66)	愛知県東海警察署常滑警部派出所	字鯉江新開559	(5)2410	110
(67)	愛知県東海警察署西ノ口派出所	西ノ口字郷中1の3	大(2)0248	41－544
(68)	愛知県東海警察署久米駐在所	久米字西前田40－3	大(2)0742	25－114
(69)	愛知県東海警察署古場駐在所	古場字柳67の7	(5)4008	65－383
(70)	愛知県東海警察署小鈴谷駐在所	小鈴谷字梶田25の2	(7)0019	72－327

常滑小唄

作詞 榊原言賢
作曲 清水保雄
振付 島田豊年

一、陶都千年　繁昌のけむり
西へ東へ　日も夜もなびく
八重の汐路の　かぎりまで
熱い炎の　恋もする

二、わたしゃ常滑　窯場の娘
想いつのれば　千度をこえる
熱い炎の　恋もする

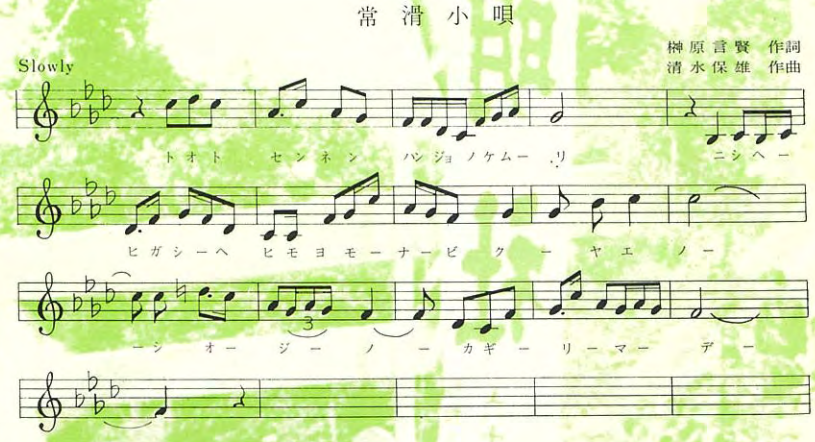
三、のりの色香に　たもとをひかれ
浸たる湯けむり　大谷坂井
小夜のしおさい　夢のなか

四、海はるり色　大野の浜辺
波は手招く　しぶきにぬれて
可愛い人魚の　みだれ髪

五、知多の木綿に　肌さえ匂う
粋なゆかたの　あの娘の酌で
地酒よいよい　とんとろり

六、遠くかすむは　鈴鹿か伊勢か
君のヨットは　鬼崎あたり
楽し沖釣　なぎ日和

七、海のギャンブル　こころもはずむ
うなるエンジン　風呼ぶレース
かける幸運　波の花

八、伸びる常滑　栄える街よ
五色モザイク　七色タイル
世界いろどる　こころ意気

常滑音頭

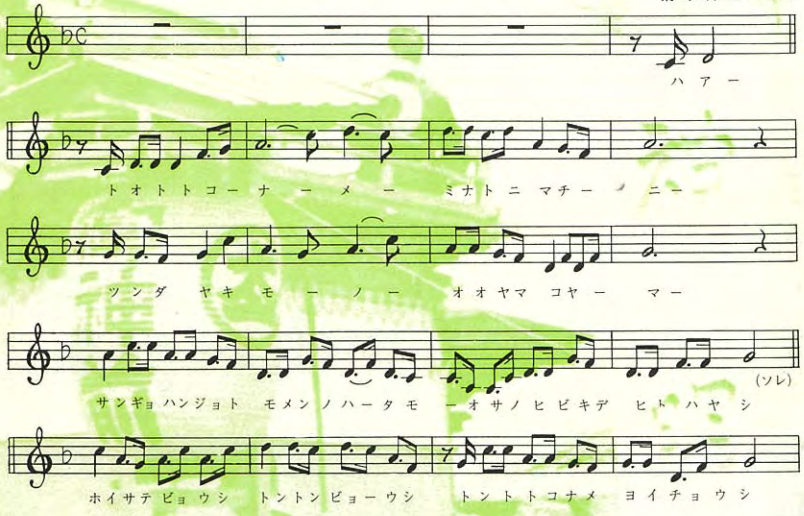
作詞 樋貝正幸
作曲 清水保雄
振付 島田豊年

ハアー
一、陶都常滑港に街に
積んだ焼物大山小山
産業繁昌と木綿の織機も
おさのひびきで一囃し
ホイサ手拍子　トントン拍子
トント常滑よい調子

ハアー
二、誰と大野か小鈴谷かけて
浜は七色水着の花を
ボートレースのしぶきが呼べば
すべるヨットの帆も招く
ホイサ手拍子　トントン拍子
トント常滑よい調子

ハアー
三、木曽のたにみず黄金の穂波
寄せる小波夕日にはえて
熱い人情もいでゆの坂井
沖のえものは魚籠の中
ホイサ手拍子　トントン拍子
トント常滑よい調子

ハアー
四、浮ぶ灯台潮路を照らす
明日をさす手は踊りの手振り
ゆめも大きく伊勢湾抱いて
知多の要の伊達姿
ホイサ手拍子　トントン拍子
トント常滑よい調子



昭和46年11月1日発行

常滑市勢要覧

発行　常滑市役所
編集　企画課
印刷　平和堂印刷